

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名			
9	教育費	1	教育総務費	3	教育振興費	210106	上美生地区山村留学推進事業

事務事業名 上美生地区山村留学推進事業

## (1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) ・道外からの児童生徒を受け入れることによって、教育環境の整備や複式学級の解消を目指す。 ・上美生地区山村留学推進協議会に対する補助及び指導員の配置 ・児童生徒募集業務、交流事業の開催
2. 対象(何を対象にしているか) 上美生小・中学校
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 複式学級の解消 教育効果の向上

## (2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 平成7年11月の上美生地区山村留学推進協議会設立を契機として、上美生地区における小学校及び中学校の複式学級の解消を目的に、平成9年度から児童生徒を受け入れている。 ・道外からの児童生徒を受け入れることによって、教育環境の整備や複式学級の解消を目指す。 ・上美生地区山村留学推進協議会に対する補助及び指導員の配置 ・児童生徒募集業務、交流事業の開催 平成28年度から臨時調理員の管理等事務を農林課から学校教育課へ移行。 全国的に山村留学を中止、休止する地域が増えている。 留学生受け入れ数は減少しており、地域の関わりの仕組みづくりが必要となっている。情報を広く公開し、地域住民の理解と山村留学への認識を高めていく必要がある。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) 山村留学事業推進のため、必要な支援を図る。 山村留学用住宅の適切な管理を行う。 ふるさと交流センターでの山村留学生に係る運営方法の検討。

## (3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2021年度	2022年度	2023年度	
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円	554,251	375,809	7,776,000
		一般財源	円	3,648,006	3,648,397	8,473,000
		事業費計(A)	円	4,202,257	4,024,206	16,249,000
	人件費	正職員従事人数	人	2	3	3
		人工数(業務量)	人工	0.0387	0.0314	
人件費計(B)		円	301,474	243,925		
トータルコスト(A+B)		円	4,503,731	4,268,131		
活動指標	指導員数		1	1	1	
	留学生数		6	9	8	
	交流事業数		2	3	5	

## (4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2021年度	2022年度	2023年度
山村親子留学用住宅貸付収入	円	360,000	218,836	360,000
臨時労働保険個人負担金(教育振興費)	円	194,251	156,973	
ふるさと交流センター使用料	円			777,000
寄附金管理基金繰入金	円			6,482,000
電気使用量(教育振興費)	円			157,000
	円			
	円			



款	項	目	事業番号	決算書上の事業名	
9	教育費	1 教育総務費	3 教育振興費	210205	児童生徒支援事業

事務事業名 児童生徒支援事業

## (1) 事務事業の目的と効果

## 1. 手段(事業の概要)

①児童生徒・教職員・保護者へのカウンセリング、助言・提言、情報収集・提供及び不登校児童生徒に対する支援を行う。  
②個別の支援が必要な児童生徒に学校生活での支援を行う。

## 2. 対象(何を対象にしているか)

①児童生徒、教職員、保護者  
②個別の支援が必要な対象児童

## 3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)

①児童生徒の問題行動等の未然防止を図る  
②個別な支援が必要な児童一人ひとりが、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善しながら自立を図っていく

## (2) 事務事業の現状と今後の取組

## 1. 事務事業の現状と課題

・特別な配慮を必要とする児童生徒のため、教育活動指導助手及び支援員を配置する。  
・教員免許を持つ臨時教諭を配置し、小中学校全学年30人以下学級編制を町費で実施。  
・学校生活に関する相談窓口として、スクールライフアドバイザーを配置。  
・不登校児童生徒への支援のため、教育支援センターを開設。令和4年度からは、民間へ業務委託。  
・発達支援システムと教育とのスムーズな接続と、特別支援教育の相談対応のため、地域コーディネーターを配置。  
【課題】  
・全国学力・学習状況調査においては、町内小・中学校ともに全国平均を下回っており、学力向上が課題となっている。  
・全町的に不登校児童生徒の数が増加しており、不登校や問題行動の早期発見・早期対応が求められる。

## 2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策)

・カンファレンス等の結果を踏まえ、児童生徒に対する必要な支援体制を確保する。  
【解決策】  
町費により臨時教諭(任期付)を配置することで、小・中学校全学年において、30人以下学級編制を実施する。(令和5年度:小学校2学級、中学校1学級に配置、令和5年度は中3は対象外)  
・個々の発言・表現や協働的な学びの場等の機会を増加させることにより、教育の質の向上を図り、全国学力・学習状況調査において、全国平均以上を目指す。  
・個々の学習状況等をより把握しやすくすることにより、個々の教育的ニーズに応じたきめ細やかな指導を通して、不登校や問題行動の早期発見・早期対応を行うことにより、不登校児童生徒数の増加傾向の抑制及び学校風土いじめ調査のアセスメント向上を目指す。  
・小・中学校で学級編制基準を揃えることにより、中学校入学時の円滑な移行と「中1ギャップ」の解消を図る。

## (3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2021年度	2022年度	2023年度	
投入量	事業費	国・道支出金	円	1,000,000	1,337,000	1,880,000
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円	4,174,126	2,229,395	2,649,000
		一般財源	円	28,323,670	33,045,325	36,821,000
	事業費計(A)	円	33,497,796	36,611,720	41,350,000	
	人件費	正職員従事人数	人	3	2	3
		人工数(業務量)	人工	0.3003	0.2962	
人件費計(B)		円	2,339,360	2,301,981		
トータルコスト(A+B)		円	35,837,156	38,913,701		
活動指標	スクールライフアドバイザー-教育支援センター指導員人数	人	2	1	1	
	教育活動指導助手・支援員人数	人	17	18	18	

## (4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2021年度	2022年度	2023年度
教育支援体制整備事業国庫補助金	円	1,000,000	1,337,000	1,880,000
会計年度任用職員労働保険個人負担金(教育振興費)	円	3,164,126	2,229,395	2,325,000
寄附金管理基金繰入金	円	1,010,000		
教育支援センター利用負担金	円			324,000
	円			
	円			
	円			

## 事務事業の成果に関する説明

児童・生徒の支援のため、以下のとおり専門の職員を配置した。

職種	区分	内容
1 スクールライフアドバイザー	会計年度任用職員	児童生徒へのカウンセリング、教職員・保護者への助言・提言、情報収集・提供を行う。
2 教育支援センター指導員	委託	教育支援センター「ゆうゆう」にて、登校に支援が必要な児童生徒の指導を行う。
3 臨時教諭	任期付職員	小学校免許を持つ臨時教諭を配置し、小学校全学年35人以下学級編制を町費で実施。
3 教育活動指導助手	会計年度任用職員	普通学級にて、困り感のある児童生徒への指導の補助を行う。
4 学校支援員	会計年度任用職員	特別支援学級在籍で個別の支援が必要な児童生徒への支援を行う。

## 1 スクールライフアドバイザー活動状況

## (1) 学校別相談件数

	芽室小学校	上美生小学校	芽室西小学校	芽室南小学校	芽室中学校	上美生中学校	芽室西中学校	合計
児童生徒	20	1			122	14	2	159
教職員	50	8	23	4	313	44	11	453
保護者	34	6	8	3	137	13	10	211
計	104	15	31	7	572	71	23	823

※その他159件(卒業生及び卒業生保護者56件、関係機関等103件)

※参考 令和4年5月1日現在児童生徒数及び教職員数

	芽室小学校	上美生小学校	芽室西小学校	芽室南小学校	芽室中学校	上美生中学校	芽室西中学校	合計
児童生徒	596	35	304	77	426	17	136	1,591
教職員	45	11	30	16	34	12	18	166

## (2) 相談内容別件数(重複あり)

相談項目別	小学校	中学校	その他	合計
いじめ	2	3		5
不登校	114	511	60	685
友人関係	5	29	9	43
教員との関係	4	10		14
学業・進路	134	558	63	755
発達相談	8	57	23	88
家庭環境(虐待含む)	13	73	28	114
自身の問題(身体・性格・行動)		27	8	35
その他	16	49	68	133
合計	296	1,317	259	1,872

## 2 教育支援センター指導員の活動状況

令和4年度より民間の学校法人へ業務委託。指導員を1名配置し、月～金曜日の9時30分から14時30分までの間、教育支援センターにて児童生徒への指導を行った。

※令和4年度末の在籍児童生徒数 21名(小:5名 中:16名)

## 3 臨時教諭の活動状況

芽室小学校に1名を配置した。

## 4 教育活動指導助手の活動状況

芽室小学校に3名、芽室西小学校に2名、芽室中学校に3名、芽室西中学校に1名の合計9名を配置した。

## 5 支援員の活動状況

芽室小学校に4名、上美生小学校に1名、芽室西小学校に1名、芽室中学校に3名の合計9名を配置した。

## 6 アセスメントツール実証

学校風土調査:小学校2校、心と身体のチェックと子ども理解支援ツールほっと:中学校1校で実施し、令和5年度より学校風土調査の全町実施を定めた。

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名
9	教育費	3	210206	大学等就学支援事業
	1	教育総務費		
		教育振興費		

事務事業名 大学等就学支援事業

## (1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) ①私立高等学校生徒の授業料補助申請の受付・審査・交付 ②大学等奨学金申請の受付・審査・貸付
2. 対象(何を対象にしているか) 経済的理由により支援を必要とする私立高等学校に在学させている世帯の保護者及び大学等の就学者
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 義務教育終了後の就学機会の確保及び経済的負担の軽減を図る。

## (2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 ・奨学金貸付については、平成29年度末から新入学生に対し、入学前貸付を開始。また、平成30年度から貸付申請を通年で受け付けることにより、随時貸付可能とした。 ・社会的経済状況から、奨学金の返済が滞って滞納繰り越しになったり、連帯保証人を通じ、返済するケースが出てきた。 ・私立高等学校生徒授業料補助生徒は令和2年度より国の就学支援金の改正により補助対象者で管内の全日制私立高等学校に通う生徒の授業料は無料となったため、管外の私立高等学校に通う生徒の保護者及び通信制の私立高等学校に通う生徒の保護者のみが対象者となった。 【課題】 例年、数件ほど収入(所得)制限を超過し、不認定となる貸付希望者がいる。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) ・奨学金貸付制度については、奨学生及び連帯保証人に債務を負う責任を十分理解し、適切に利用してもらえるように進めていく。 ・奨学金償還免除制度については、効果的に奨学生に印象付けられるよう周知に努める。 ・私立高等学校生徒授業料補助制度については、国及び北海道の同様の補助制度に連動するよう状況に合わせて実施を続ける。 【解決策】 条例を改正し、令和6年度から収入(所得)制限を廃止する。

## (3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2021年度	2022年度	2023年度	
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円	16,735,000	16,615,000	12,600,000
		一般財源	円	11,189,000	9,045,000	8,140,000
		事業費計(A)	円	27,924,000	25,660,000	20,740,000
	人件費	正職員従事人数	人	3	2	3
		人工数(業務量)	人工	0.1205	0.1176	
人件費計(B)		円	938,684	913,958		
トータルコスト(A+B)		円	28,862,684	26,573,958		
活動指標	私立高等学校授業料補助申請件数	件	18	15	15	
	大学等奨学金貸付申請件数	件	44	45	32	

## (4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2021年度	2022年度	2023年度
大学等奨学金貸付金元金収入	円	16,735,000	16,615,000	12,600,000
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			

## 事務事業の成果に関する説明

## 1 私立高等学校生徒授業料補助 360,000 円

○ 認定者 月額 3,000円以内 13人

※ うち補助金支給対象者(自己負担0円の場合は支給無し) 10人

	町内生徒数	申請者数	認定者数	不認定者数
帯広大谷高等学校	42	1	1	
帯広北高等学校	20			
白樺学園高等学校	28			
池上学院帯広キャンパス	11	2	2	
星槎国際高等学校	27	11	9	2
その他(十勝管外・単位制)	20	1	1	
合 計	148	15	13	2

## 2 大学等奨学金の貸付 43 人 25,300,000 円

○ 通常貸付分

貸付者 34 人

・入学金 300,000 円 × 5 人 = 1,500,000 円

・修学金 500,000 円 × 33 人 = 16,500,000 円

・修学金 100,000 円 × 1 人 = 100,000 円

合計貸付金額 18,100,000 円

○ 入学前貸付分(令和5年度新入学生分)

貸付者 9 人

・入学金 300,000 円 × 9 人 = 2,700,000 円

・修学金 500,000 円 × 9 人 = 4,500,000 円

合計貸付金額 7,200,000 円

		1年		2年	3年	4年	計	
		通常	年度前	通常	通常	通常	通常	年度前
大学院	国公立							
	私立							
大 学	国公立	2		2	3	2	9	
	私立	2	6	7	4	2	15	6
短期大学	国公立							
	私立	1		2			3	
専門学校	国公立		1					1
	私立	3	2	3	1		7	2
その他	国公立							
	私立							
計	国公立	2	1	2	3	2	9	1
	私立	6	8	12	5	2	25	8

○ 令和4年度末奨学金償還状況

内 容	実 績	備 考
令和4年度償還人数	119人	うち滞納繰越者2名
令和4年度償還予定額	16,775,000円	うち繰上償還額 3,860千円
令和4年度償還滞納繰越額	550,000円	H28:70千円、H29-R2:各年80千円、R3:160千円
令和4年度償還額(現年分)	16,535,000円	うち繰上償還額 3,860千円
令和4年度償還額(滞納繰越分)	80,000円	
令和4年度償還免除額	165,000円	償還免除者4名
償還未済人数	193人	
償還未済額	160,170,000円	

R3末貸付残高 + R4貸付金 + (R4償還金+繰上償還金+R3滞納+免除額)  
 151,650 + 25,300 + (△12,675+△3,860+△80+△165)

= R4末貸付残高  
 = 160,170 (千円)

※令和4年度中増減高…8,520(千円)

【H28-R4滞納繰越710千円含む】

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名	
9	教育費	1 教育総務費	5 給食センター管理費	210301	学校給食センター施設維持管理事業

事務事業名 学校給食センター施設維持管理事業

## (1) 事務事業の目的と効果

## 1. 手段(事業の概要)

学校給食業務を円滑・効果的に実施するための施設設備について、適切な維持管理を行う事業。

## 2. 対象(何を対象にしているか)

学校給食センター施設、機械設備。

## 3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)

学校給食業務がスムーズに行えるよう、日常の保守点検を怠りなく実施し、学校給食センターの施設や機械設備のトラブルに迅速に対応する。

## (2) 事務事業の現状と今後の取組

## 1. 事務事業の現状と課題

現在の学校給食センターは建設後22年を経過しており、設備・調理機器の計画的な改修・更新を実施していることから、修繕件数はここ数年、減少傾向にある。今後も安全安心な学校給食を提供するため、2015年度に策定した「給食センター施設整備・備品等購入年次計画」に基づき設備・機器の改修・更新・修繕を実施していく。

近年、男性職員の応募や任用が増えているが、更衣室やトイレ等、施設の構造上の理由により、複数の男性職員を任用することが難しく、また、できる業務も限られてしまう状況である。

## 2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策)

現在の学校給食センターは建設してから22年が経過しているが、今後も20年程度は現施設を使用することが想定されるため、長期的な施設整備・備品等の購入・改修について、計画を見直しながら実施していく。

緊急修繕については従来どおり給食提供に支障がでないよう対応していく。

学校給食法で規定する「学校給食衛生管理基準」に基づき、衛生管理の徹底と強化を図りながら施設維持管理を行う。

## (3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2021年度	2022年度	2023年度	
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地方債	円		14,400,000	
		その他(使用料等)	円	14,592,371	8,339,230	3,084,000
		一般財源	円	37,656,823	55,052,744	43,365,000
	事業費計(A)	円	52,249,194	63,391,974	60,849,000	
	人件費	正職員従事人数	人	3	3	3
		人工数(業務量)	人工	0.4661	0.5271	
人件費計(B)		円	3,630,810	4,096,416		
トータルコスト(A+B)		円	55,880,004	67,488,390		
活動指標	施設維持管理費用	円	52,249,194	63,391,974	60,849,000	

## (4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2021年度	2022年度	2023年度
学校給食センター屋上防水改修事業債	円			14,400,000
寄附金管理基金繰入金	円	14,464,000	8,215,000	2,894,000
学校給食試食代	円	2,665	6,601	57,000
給食センター職員給食代	円	125,706	117,629	133,000
	円			
	円			
	円			

## 事務事業の成果に関する説明

## 1 光熱水費の推移(過去5年間)

区 分		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
重油	使用量(ℓ)	89,800	87,400	95,700	88,100	91,000
	金額	9,179,244	8,862,116	8,452,180	9,738,740	11,132,000
ガス	使用量(m³)	1,784	1,773	1,593	1,775	1,622
	金額	1,373,555	1,375,236	1,383,437	1,391,984	1,274,174
電気料	使用量(kW)	404,220	398,613	394,043	431,409	408,846
	金額	10,871,429	10,231,328	9,360,959	10,849,018	13,398,181
水道料	使用量(m³)	10,532	10,523	8,954	8,345	8,178
	金額	4,699,600	4,724,678	4,074,952	3,800,293	3,724,978

## 2 施設管理委託料の内訳

①特別清掃委託	2回/年	1,210,000 円	(株)かんきょう
②機械警備委託	年間	183,480 円	セコム(株)
③施設管理委託	年間	3,190,000 円	(株)かんきょう
④消防設備点検委託	2回/年	49,170 円	(株)ヤマト商会
⑤電気工作物保安管理委託	6回/年	336,600 円	(財)北海道電気保安協会
⑥ばいじん量測定委託	2回/年	88,000 円	カンエイ実業(株)帯広営業所
⑦機械設備保守点検委託	年間	1,430,000 円	(株)日本サーモエナジー釧路営業所
⑧調理機具保守点検委託	2回/年	160,600 円	日本調理機(株)北海道支店
⑨事業系廃棄物収集運搬委託	年間	290,508 円	(株)かんきょう
⑩残渣処理配管清掃委託	3回/年	74,800 円	(株)北海道エコシス
⑪貯水槽清掃委託	1回/年	40,700 円	クリーン開発(株)
⑫害虫生息調査委託	2回/年	66,000 円	(株)かんきょう
⑬給食センター蒸気配管改修工事実施設計委託		346,500 円	まちの建築家あくていぶネット協同組合
合 計		7,466,358 円	

## 3 建設工事等

①蒸気配管改修工事	9,515,000 円	(株)宮間工業
②電気温水器更新工事	319,000 円	(株)宮間工業
合 計	9,834,000 円	

## 4 施設維持管理用備品購入

①コンテナ洗浄機 購入	9,240,000 円	日本調理機(株)北海道支店
②洗濯機 購入	86,130 円	道東電機(株)
③球根皮むき機 購入	374,000 円	日本調理機(株)北海道支店
④さいの目切機 購入	418,000 円	日本調理機(株)北海道支店
合 計	10,118,130 円	

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名
9	教育費	1 教育総務費	5 給食センター管理費	210304 給食材料購入事業

事務事業名 給食材料購入事業

## (1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 給食の実施と衛生管理の他、個別対応を必要とする児童生徒への対応、めむろまるごと給食など地元の農畜産物について理解と関心を深めるための給食業務を行う。
2. 対象(何を対象にしているか) 町内小中学校7校の児童生徒数
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 成長期にある児童生徒の心身の健全な発達のため、栄養バランスのとれた豊かな食事を提供することにより、健康の増進を図る。また、食に関する指導を効果的に進めるための教材として活用する。

## (2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 ・学校給食を通じた食育・食農教育の推進を図るため、積極的に芽室産食材を使用している。授業や給食時間に生産者から児童生徒に対し、食材や農業について伝えてもらう機会を取り入れているが、この活動をより多くの生産者に周知協力してもらえ体制づくりが必要となっている。 ・国の第3次食育推進基本計画では「学校給食における地場産物(都道府県内産)を使用する割合」の目標値(品目数ベース)を30%以上と定めており、本町の令和4年度道内産使用率(品目数)は6月・11月の全国定点調査で52.2%である。(北海道は48.7%、十勝は52.1%、いずれも令和元年度)。 ・近年の物価高騰に伴い、給食材料費が不足する事態となっている。令和4年度については不足する給食材料費を町費において補填している。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) ・前年度は多くの生産者に協力をしてもらい、生産者の顔やメッセージを資料にまとめ、掲載することができた。また、給食時間に栄養教諭が農業や給食についての話をを行った。子どもたちが農業を身近に感じ、食べる意欲に繋がった。今後も継続していく。 ・地場産物を継続的に使用していくため、身近な生産者や地域とのつながりが必要。 ・給食費保護者負担金について、食育・食農推進の観点から、昨年度と同様、値上げした1食当たり22円分を町費で負担する。 ・令和5年度については、給食材料費が不足する場合、令和4年度と同様、町費において補填していく。令和6年度以降については、状況により給食費の増額も検討する。

## (3) 総事業費・指標等の推移

		内訳	単位	2021年度	2022年度	2023年度
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円	92,462,108	86,936,332	87,461,000
		一般財源	円	9,785,105	13,413,694	6,727,000
		事業費計(A)	円	102,247,213	100,350,026	94,188,000
	人件費	正職員従事人数	人	3	3	3
		人工数(業務量)	人工	0.6086	0.5054	
人件費計(B)		円	4,740,852	3,927,772		
		トータルコスト(A+B)	円	106,988,065	104,277,798	
活動指標	給食材料代		千円	102,248	101,788	94,188
	年間給食日数		日	208	204	206

## (4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2021年度	2022年度	2023年度
学校給食費保護者負担金	円	80,752,504	75,517,226	75,670,000
学校給食試食代	円	18,910	52,194	363,000
給食センター職員給食代	円	805,364	755,326	829,000
教職員等給食代	円	10,885,330	10,611,586	10,599,000
	円			
	円			
	円			

## 事務事業の成果に関する説明

## 1 令和4年度学校給食費内訳

学校給食費保護者負担金(小学校232円、中学校282円)  
 調定額 75,620,302円 収入済額 75,517,226円

教職員等給食代(小学校254円、中学校304円)  
 調定額 10,611,586円 収入額 10,611,586円

学校給食試食代 52,194円(食材代)  
 給食センター職員給食代 755,326円(食材代)

※学校給食保護者負担金、教職員等給食代は基準日数に基づく調定

## 2 令和4年度学校給食提供数

小学校 214,020食  
 中学校 123,051食  
 試食 36食  
 給食センター職員 3,608食

## 3 令和4年度給食材料区分別購入内訳

区分	提供日数	購入金額	備考
牛乳等	204日	17,281,936円	牛乳=200ml
米飯	122日	4,923,072円	週3回
パン	41日	6,136,010円	週1回
麺類	41日	4,180,369円	週1回
副食	204日	69,266,392円	
合計		101,787,779円	

※物価高騰対策給食材料購入事業分を含む。

## 4 令和4年度学校給食食材産地内訳

品目	総数量(kg)	芽室産		十勝産		道内産		その他	
		数量(kg)	割合	数量(kg)	割合	数量(kg)	割合	数量(kg)	割合
米	16,280					16,280	100.0%		
大麦	1,400							1,400	100.0%
小麦粉	12,771	3,189	25.0%	9,582	75.0%				
野菜類	39,128	17,192	43.9%	6,401	16.4%	3,948	10.1%	11,587	29.6%
肉類	8,570	941	11.0%			6,400	74.7%	1,229	14.3%
卵・魚・味噌・豆腐類	8,345			7,014	84.0%	281	3.4%	1,050	12.6%
小計	86,494	21,322	24.7%	22,997	26.6%	26,909	31.1%	15,266	17.6%
牛乳	67,607			67,607	100.0%				
合計	154,101	21,322	13.8%	90,604	58.8%	26,909	17.5%	15,266	9.9%

※物価高騰対策給食材料購入事業分を含む。

## 事務事業の成果に関する説明

## 5 「めむろまるごと給食」実施状況

実施月日	メニュー	食数
5月20日	肉なべどん、牛乳、コーンのみそ汁、ポテトサラダ	1,724食
6月10日	ハヤシライス、牛乳、アスパラとコーンのクリーミーサラダ	1,794食
7月8日	ドライカレー、牛乳、キャベツと大根のサラダ	1,784食
9月9日	豚肉とコーンのスタミナライス、牛乳、野菜とじゃがいものスープ、キャベツと枝豆のサラダ	1,780食
10月7日	中華丼、牛乳、大根と鶏肉のスープ、キャベツとコーンのサラダ	1,787食
11月18日	ハッシュドビーフライス、牛乳、じゃがいもで大学芋	1,770食
12月9日	肉そぼろ丼、牛乳、豆腐とごぼうのみそ汁、ゆり根とキャベツのごまあえ	1,627食
2月3日	麦入りごはん、牛乳、けんちん汁、豚肉の竜田揚げ、ひじきのごまネーズあえ	1,788食
3月10日	牛肉のスパイシーピラフ、カラフルマヨサラダ、枝豆とてん菜のポターージュ	1,790食

めむろまるごと給食試食数 12食

## 6 「食の指導」実施数

	内容	指導者	芽小	西小	南小	上小	芽中	西中	上中
食に関する指導	食事の重要性、栄養バランス、心身の健康等	栄養教諭	19クラス 各1回	10クラス 各1回	5クラス 各1回	6学年 各1回	12クラス 各1回	5クラス 各1回	なし
	食農教育(※1)	管理栄養士 農業士		2クラス 各1回	1クラス 1回				

芽小配属栄養教諭については全給食時間に指導実施。

(※1)食農教育では芽室町の農業と学校給食について学び、地域の特性を生かした給食や食料自給率について考え、感謝の気持ちや食べ物を大切にすることを育む。

## 7 その他(芽室まるかじりプロジェクト)

管理栄養士による指導を実施  
芽室小学校6年生 3クラス  
芽室西小学校3年生 2クラス



款	項	目	事業番号	決算書上の事業名
9	教育費	5	210305	学校給食管理運営事業
	1	給食センター管理費		

事務事業名 学校給食管理運営事業

## (1) 事務事業の目的と効果

## 1. 手段(事業の概要)

町内小中学校7校に提供する学校給食を調理する学校給食センターの運営を行う。児童生徒が食する学校給食が基準に基づき安全確実に提供できるよう、衛生管理の徹底と円滑な調理・配食業務を行う。

## 2. 対象(何を対象にしているか)

町内小中学校7校の児童生徒

## 3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)

学校給食による栄養バランスのとれた豊かな食事の提供により、栄養摂取バランスの改善ができる。また、優れた食事のモデル教材として食の学びの機会とし、正しい食習慣を知ることができる。

## (2) 事務事業の現状と今後の取組

## 1. 事務事業の現状と課題

道の栄養教諭配置基準に基づき加配を含めて現在2人の栄養教諭が配置されており、食育・食農教育等の体制強化として配置の町管理栄養士とともに、児童生徒の健全な成長発達を目指した業務等、関係機関との連携共同がますます重要となっている。また、調理業務の職員体制の安定化を図るとともに、業務を一部外部委託することにより、円滑な学校給食の運営を目指すことが必要である。

少子化の中児童生徒数の減少に伴い給食提供食数は減少してきているが、食物アレルギーにより対応を要する児童生徒や、医療的ケアを必要とする児童生徒に対する個別対応事例が増加してきており、保護者・学校・医療関係者との連絡調整等を含めてより専門性の高い業務が増えてきている。

## 2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策)

生産者による食育・食農授業をはじめ、関係課・係及び町内関係者との連携による食育活動を継続する。また、次年度の拡大へ向け企画を進める。

学校給食を通し児童生徒の健康増進対策を進めるため、生活習慣病対策への参画・協力と、養護教諭及び関係課係との情報共有・連携を強化する。

食物アレルギーによる除去食対応や、医療的ケアを必要とする児童生徒に対する個別対応事例が増加し複雑化してきていることから、より安全性・確実性の強化徹底を図る。

学校給食業務の安定的な運営体制のため、給食センター職員の確保と一部外部委託を進めていく。

## (3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2021年度	2022年度	2023年度	
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円	13,795,632	3,223,413	5,330,000
		一般財源	円	51,699,612	56,333,216	64,494,000
		事業費計(A)	円	65,495,244	59,556,629	69,824,000
	人件費	正職員従事人数	人	3	3	3
		人工数(業務量)	人工	1,3535	1,4280	
人件費計(B)		円	10,543,448	11,097,859		
トータルコスト(A+B)		円	76,038,692	70,654,488		
活動指標	年間給食日数	日	208	204	206	

## (4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

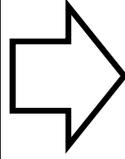
細節名	単位	2021年度	2022年度	2023年度
寄付金管理基金繰入金	円	9,216,000		2,722,000
会計年度任用職員労働保険料個人負担金(給食センター管理費)	円	4,579,632	3,223,413	2,608,000
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

1 学校給食提供職員体制状況

【令和3年度】

①調理業務・食器食缶洗浄業務
調理員 15人
代替職員 5人(調理・洗浄・配食)
②配食業務
配食員 5人
代替職員 5人(調理・洗浄・配食)



【令和4年度】

①調理業務・食器食缶洗浄業務
<u>主任調理員 3人</u>
調理員 12人
代替職員 4人
<u>短時間調理員 2人</u>
<u>委託業者 3人工分(洗浄業務の一部)</u>
③配食業務
配食員 6人

- ・令和4年度より、調理業務責任者として主任調理員を新設。
- ・調理繁忙時間に特化した人員として短時間調理員を新設
- ・人材確保の課題解決、また、福祉事業の新たな事業機会の創出、障がい者の自立支援効果を期待し、食器食缶洗浄業務の一部について、福祉事業所による外部委託を実施。

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名			
9	教育費	2	小学校費	1	学校管理費	210110	小学校施設維持管理事業

事務事業名	小学校施設維持管理事業
-------	-------------

## (1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 施設の修繕、保守点検、工事。必要備品の購入
2. 対象(何を対象にしているか) 児童、教職員、学校施設
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 安全・教育に快適な施設を確保する。

## (2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 平成21年度の工事により、小学校の耐震化率が100%となった。平成23年度からは太陽光発電パネルの設置に取り組むとともに、児童の生活スタイルの変化からトイレ洋式化を行った。 各施設は老朽化が進んでいるため、令和元年度に学校施設等長寿命化計画を策定した。 多様な児童が学校で安全に日常生活を過ごせるような対策のほか、GIGAスクールやDX、ゼロカーボンなどを踏まえるとともに各校のニーズを捉えた改修計画を立案していく必要がある。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) 令和5年度は、各校特別教室等に換気付き空調設備を設置、上小煙突改修工事を実施する。 芽室町立小中学校配置計画と関連して、児童・生徒数の減少に伴い、配置基準を満たさない学校が今後生じる可能性がある。各校とも大規模改修等を経ながらも老朽化は着実に進行しており、修繕が必要な箇所もあるが、長期的な視点に立った改修計画を立案していく。 また、教育を取り巻く環境の変化に合わせた施設改修に関しては、各校のニーズを踏まえた計画となるよう協議に向けた検討を進める。

## (3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2021年度	2022年度	2023年度	
投入量	事業費	国・道支出金	円	3,051,000		16,034,000
		地方債	円	6,000,000		33,400,000
		その他(使用料等)	円	2,884,932	2,039,313	903,000
		一般財源	円	78,043,498	94,160,409	82,967,000
		事業費計(A)	円	89,979,430	96,199,722	133,304,000
	人件費	正職員従事人数	人	2	3	3
		人工数(業務量)	人工	0.2250	0.4155	
人件費計(B)		円	1,752,370	3,228,859		
トータルコスト(A+B)		円	91,731,800	99,428,581		
活動指標	修繕件数	件	86	69	69	
	工事件数	件	2	2	3	

## (4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2021年度	2022年度	2023年度
学校施設開放事業利用者負担金(小学校管理費)	円	5,400		26,000
太陽光買電収入(小学校管理費)	円	65,532	44,313	19,000
寄附金管理基金繰入金	円	1,814,000	1,995,000	
芽室小学校学校施設環境改善交付金	円	3,051,000		
芽室小学校東側非常口設置事業債	円	6,000,000		
公共施設整備基金繰入金	円	1,000,000		
森林環境譲与税基金繰入金	円			858,000
小学校施設環境改善交付金-R4繰越	円			16,034,000
小学校施設環境改善事業債-R4繰越	円			33,400,000
	円			
	円			
	円			

## 事務事業の成果に関する説明

**1 学校環境の整備**

・校下の特色ある環境づくりとスケートリンクの整備を進めるため、学校環境整備及びスケートリンク造成費報償と地域PTAの協力、公務補による環境美化整備を図った。

芽室小学校	336,000円
上美生小学校	180,000円
芽室西小学校	380,000円
芽室南小学校	380,000円
計	1,276,000円

**2 学校施設の整備**

上美生小学校地下燃料タンク改修工事	5,115,000円
芽室小学校トイレ手摺設置工事	408,760円
計	5,523,760円

**3 学校備品の整備**

芽室小	刈り払い機	
	電動裁断機	
	支援学級補助暖房	
	支援学級テーブル(併用テーブル)変形	
	移動式段差解消機	
上美生小	スタンダードアルミ車いす(解除ブレーキ付)	
	オールアルミ指揮台	
芽室西小	2連はしご	
	ラミネーターA3	
	フォールディングテーブル	
	折りたたみリアカー	
	器械卓子(ワゴン)	
	ホワイトボード(移動式白板)	
	単立展示版SPJシリーズ	
	校長室校長用椅子	
	消火器	
芽室南小	加湿器ダイニチ	
	掃除機日立紙パック式	
	テブラ	
計		5,612,534円

**4 校務支援システムの導入**

・教職員の限られた勤務時間の中で、児童生徒に接する時間を確保し、真に必要な総合的な指導を持続的に行うことができる状況を作り出すため、校務支援システムを活用し情報の共有化や業務の効率化、事務作業にかかる時間の縮減を図った。

1,958,000円



款	項	目	事業番号	決算書上の事業名			
9	教育費	2	小学校費	1	学校管理費	210112	教員住宅管理事業

事務事業名 教員住宅管理事業(小)

## (1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 教職員住宅の維持管理(修繕、改修工事等)
2. 対象(何を対象にしているか) 教職員 教職員住宅
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 安全・安心・快適な住環境を確保する。

## (2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 教職員住宅の老朽化の進行や、交通・住環境の整備に伴う需要の低下を踏まえ、茅室町公共施設等総合管理計画、教員住宅の在り方基本方針に基づき、統廃合、維持管理を整理する必要がある。 R4には茅室町教員住宅の在り方基本方針を見直し、麻生町の戸建住宅9棟については、用途廃止することとして方向性を定めたことから、今後処分に向けた手続きを進めていく必要がある。 学校管理職の居住については、条件を満たした場合、居住が必須ではないと整理し、これに伴い一部の管理職用住宅は用途廃止することとした。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) 2023年度は、小学校費、中学校費で運用している本事業を統合し、1事業とする。また、上美生地区の住宅(1棟2戸)の屋根・外壁工事を実施し、建物の長寿命化を図る。 現在の教職員住宅は、築30年を超える住宅ばかりであり、長寿命化、統廃合等を具体的に検討していく時期に差し掛かっている。このことから、改めて入居希望状況等を整理し、今後の具体的な方針を定めていく。

## (3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2021年度	2022年度	2023年度
投入量	事業費	国・道支出金	円		
		地方債	円		
		その他(使用料等)	円	5,722,000	1,519,200
		一般財源	円	△ 447,278	8,795,230
	事業費計(A)	円	5,274,722	10,314,430	
	人件費	正職員従事人数	人	2	3
		人工数(業務量)	人工	0.1015	0.0458
人件費計(B)		円	791,017	355,958	
トータルコスト(A+B)		円	6,065,739	10,670,388	
活動指標	修繕件数	件	7	12	
	工事数(対象戸数)	戸	1	8	

## (4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2021年度	2022年度	2023年度
教員住宅(小学校)貸付収入	円	1,722,000	1,519,200	
公共施設整備基金繰入金	円	4,000,000		
	円			
	円			
	円			
	円			

## 事務事業の成果に関する説明

## 1 教職員住宅の整備

(1)教職員住宅の老朽化に対応し、居住環境の向上を図るため、内装改修等の工事を実施した。

麻生町教員住宅物置設置工事(F-14棟)	2,816,000円
麻生町教職員住宅内部改修工事(F-11-3,4、F-13-3,4)	6,380,000円
	<u>9,196,000円</u>

(2)教職員住宅の居住環境を整えるため、以下の修繕を実施した。

上美生小校長宅 アンテナ取替修繕	18,700円
教員住宅 網戸修繕	23,200円
上美生教員住宅(S-5)水抜栓取替修繕	99,550円
芽小教頭住宅(F10-1) 混合栓清掃及び締付修繕	6,600円
上美生教員住宅(S-9)アミ戸修繕	29,480円
教員住宅アンテナ調整修繕	6,875円
上美生教員住宅(S-9)洗濯水栓ハンドル内パッキン取替修繕	6,820円
上美生教員住宅(S-9)サーモスタット式シャワー付水栓風呂	58,080円
麻生町教員住宅水抜栓修繕(F-11-2、F-13-2)	231,000円
麻生町教員住宅F-10-1 混合栓修繕	5,720円
麻生町教員住宅F-11-2 浴室換気扇取替修繕	17,050円
麻生町教員住宅給水給湯管凍結修繕(F-11-4,F13-3,4)	432,300円
	<u>935,375円</u>

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名	
9	教育費	2	1	210224	学校健康診断実施事業(小学校)

## 事務事業名 学校健康診断実施事業(小学校)

## (1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 学校健診(内科検診、歯科検診、尿検査、心臓健診等)を実施する。 また、町単独の事業として生活習慣病検査(血液検査)を小学校4年生の児童を対象に実施する。 教職員の福利厚生充実のため、教職員を対象とした、健康診断も実施する。
2. 対象(何を対象にしているか) 小学校の児童 小学校の教職員
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 身体の異常の早期発見と適切な指導を行う。

## (2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 学校保健安全法に基づき学校健診を行うことにより、児童の健康の保持増進を図り、学校教育の円滑な実施を図る。  ・小学校4年生を対象にした、生活習慣病検査は学校保健安全法に規定されている健診ではなく、町独自で実施している検査であり、将来への生活習慣病予防のきっかけづくりとなっている。 ・2021年度から会場を公立芽室病院に変更した。 ・2020年度と比較し、受診率は低下したが、所見がみられる児童に受診を勧奨したため、要指導・要治療率は増加しており、以前に比べ生活習慣病のリスクがある児童への早期発見・早期介入となっている。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) ・生活習慣病検査について、小学校4年生の希望者に加え、新たに学校の2計測(身長・体重)から算出したローレル指数、BMI指数において所見が見られる児童も対象とする。 ・栄養教諭が実施する「食に関する指導」に生活習慣病予防の内容を小4以降に加える。 ・町の保健師や栄養士から、生活習慣病予防の知識啓発となる情報を学校に提供し、保健室掲示や、保護者向けの保健だよりに、生活習慣病予防に係る正しい知識の啓発を盛り込む。 ・上記の取組を2023年度においても継続することで、検査を受診しない児童やその保護者に対しても、生活習慣病予防について情報発信をし、町内児童の健康改善に繋げる。

## (3) 総事業費・指標等の推移

		内訳	単位	2021年度	2022年度	2023年度
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円			
		一般財源	円	8,518,291	7,938,848	8,780,000
		事業費計(A)	円	8,518,291	7,938,848	8,780,000
	人件費	正職員従事人数	人	3	2	3
		人工数(業務量)	人工	0.1706	0.1829	
人件費計(B)		円	1,328,622	1,421,514		
		トータルコスト(A+B)	円	9,846,913	9,360,362	
活動指標	各種健康診断受診者延人数	人	3,236	3,172	3,100	
	各種健康診断受診者数(教職員)	人	104	102	91	

## (4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2021年度	2022年度	2023年度
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			

## 事務事業の成果に関する説明

## 1 主な施策の成果

(1) 生活習慣病検査の実施 507,360 円

## ①検査会場

公立芽室病院を会場とし、保護者同伴のもとで血液検査を実施。

## ②受診対象者

小学4年生に加え、学校の2計測(身長・体重)から算出したローレル指数、BMI指数において所見が見られる児童

## ・他関係課との連携状況

検査結果を公立芽室病院の医師が判断し、要治療・要指導とされた児童とその保護者に対して、町の保健師・栄養士による個別相談を実施。

## ・受診率等

	小学4年生	小学有所見者	小学計
受診率	25.4%(44/173)	42.9%(12/28)	27.9%(56/201)
要治療・要指導率	22.7%(10/44)	83.3%(10/12)	35.7%(20/56)

(参考:令和3年度受診率等)

	小学4年生	小学有所見者	小学計
受診率	38.9%(74/190)	52.4%(22/42)	41.4%(96/232)
要治療・要指導率	10.8%(8/74)	63.6%(14/22)	22.9%(22/96)

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名			
9	教育費	2	小学校費	1	学校管理費	210225	特別支援教育就学奨励事業(小学校)

事務事業名 特別支援教育就学奨励事業(小学校)

## (1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) ・学校教育法、特別支援学校への就学奨励に関する法律に基づき、特別支援学級に通学する児童の保護者に対し、就学に必要な経費の一部補助を行う。
2. 対象(何を対象にしているか) 特別支援学級に通学する児童の保護者
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 保護者の経済的負担を軽減する

## (2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 ・2018年度より、特別支援教育就学奨励費補助金(国庫補助)の助成単価のうち、新入学用品費等の金額が上がったことから、新入学用品費の支給額を増額して支給を行っている。 ・2022年度より、児童用タブレットを日常的な家庭学習のために持ち帰った際、各家庭でwifi環境を整備する必要があることから、オンライン学習通信費の支給を行っている。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) 国庫補助要綱に基づき、適正に支給していく。

## (3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2021年度	2022年度	2023年度	
投入量	事業費	国・道支出金	円	661,000	593,000	487,000
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円			
		一般財源	円	662,536	594,433	489,000
		事業費計(A)	円	1,323,536	1,187,433	976,000
	人件費	正職員従事人数	人	3	2	3
		人工数(業務量)	人工	0.0542	0.0468	
人件費計(B)		円	422,308	363,593		
トータルコスト(A+B)		円	1,745,844	1,551,026		
活動指標	児童数	人	1,046	1,012	985	

## (4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2021年度	2022年度	2023年度
特別支援教育就学奨励費等国庫補助金	円	661,000	593,000	487,000
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			

## 事務事業の成果に関する説明

## 1 就学奨励費内訳

項目	人数	金額
学校給食費	29人	654,588円
修学旅行費	10人	107,900円
校外活動等参加費(宿泊を伴うもの)	6人	11,070円
学用品・通学用品費購入費	29人	168,780円
新入学児童学用品・通学用品子入費	3人	76,665円
体育実技用具費(スキー等)	6人	35,430円
オンライン学習通信費	19人	133,000円
計		1,187,433円

※オンライン学習通信費は令和4年度新設。

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名	
9	教育費	2	1	210227	要・準要保護児童就学援助事業(小学校)

事務事業名 要・準要保護児童就学援助事業(小学校)

## (1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 就学困難な児童の保護者に対し、就学に必要な経費の一部補助を行う。(要保護世帯の児童は修学旅行費が補助対象)
2. 対象(何を対象にしているか) 就学困難と認められる児童の保護者
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 就学困難な児童の保護者の経済的負担を軽減する

## (2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 ・就学困難な児童の保護者に対し、就学に必要な経費の一部補助を行う。(要保護世帯の児童は修学旅行費のみ補助対象) ・2018年度新入学児童から、新入学用品費の入学前支給を実施した。(2月末支給) ・2019年度については、要保護児童生徒援助費補助金の新入学用品費の金額が上がったことから、新入学前支給の金額についても増額して支給を行った。 ・2019年度より、卒業アルバム費等の支給項目が追加されたことから、小学校6学年のアルバム注文者の児童世帯に卒業アルバム費の支給を行っている。 ・2022年度より、児童用タブレットを日常的な家庭学習のために持ち帰った際、各家庭でwifi環境を整備する必要があることから、オンライン学習通信費の支給を行っている。 ・援助が必要な世帯に援助ができるよう、周知に努める。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) ・法に基づき、適正に支給する。

## (3) 総事業費・指標等の推移

		内訳	単位	2021年度	2022年度	2023年度
投入量	事業費	国・道支出金	円		26,000	28,000
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円			
		一般財源	円	8,884,875	9,856,956	10,566,000
		事業費計(A)	円	8,884,875	9,882,956	10,594,000
	人件費	正職員従事人数	人	3	2	3
		人工数(業務量)	人工	0.2077	0.1931	
人件費計(B)		円	1,617,749	1,500,948		
		トータルコスト(A+B)	円	10,502,624	11,383,904	
活動指標		児童数	人	1,046	1,012	985

## (4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2021年度	2022年度	2023年度
要保護児童生徒援助費国庫補助金	円		26,000	28,000
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			

## 事務事業の成果に関する説明

## 1 就学援助費内訳

項目	支給人数	金額
学用品費	105人	1,163,102円
通学用品費等	104人	349,361円
新入学学用品費	8人	432,480円
P T A 会費	82人	274,977円
体育実技用具費	44人	519,640円
修学旅行費	22人	554,051円
給食費	108人	4,386,459円
卒業アルバム費	21人	209,500円
オンライン学習通信費	104人	1,398,726円
計		9,288,296円

※オンライン学習通信費は令和4年度新設。

## 2 就学援助認定率(年度末)

学校名	児童数	認定者数	認定率
芽室小学校	596人	73人	12.25%
上美生小学校	35人	1人	2.86%
芽室西小学校	304人	32人	10.53%
芽室南小学校	77人		
町外小学校		4人	
計		110人	

## 3 新入学用品費入学前支給

学校名	支給人数	金額
芽室小学校	6人	324,360円
上美生小学校		
芽室西小学校	5人	270,300円
芽室南小学校		
計	11人	594,660円

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名				
9	教育費	2	1	小学校費	1	学校管理費	210239	教材・教具整備事業(小学校)

事務事業名 教材・教具整備事業(小学校)

## (1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 小学校4校の教育課程に係る備品、消耗品及び図書等の購入・整備を行う。
2. 対象(何を対象にしているか) 小学校4校の児童と教職員
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 授業の実施状況に合わせた教材・教具を整備することにより、効率的・効果的な授業の実施等、学校教育の充実を図る。

## (2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 ・町内小学校の授業等で必要な教材・教具及び学校図書の購入・維持管理。 ・2019年度より、校務用・教育用コンピューター等の計画更新を行っている。 ・2020年度より、ICT整備・活用指針に基づき、GIGAスクール構想の実現に向けた環境整備を行っている。 【課題】 ・子どもの確かな学力と社会の変化に対応できる力の育成のため、各学校が個々の教育的ニーズに応じたきめ細やかな指導の充実を図る必要がある。 ・令和8年度に児童用タブレットの更新時期を迎えるが、更新方法について検討が必要である。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) ・以下のスケジュールで校務用パソコン、パソコン教室用(中学校のみ)パソコン及び周辺機器等の更新を進める。(備荒資金の利用を予定) 2023年度 上美生中学校 【解決策】 ・芽室町教育委員会に「教育DX推進員」を配置し、町のICT教育の指針を充実させ、ICT教育の授業改善・推進を図ることで、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現を目指す。 ・令和8年度の児童用タブレットの更新に向け、国庫補助の情報収集やBYOD(自分の端末使用)も含め検討を行う。

## (3) 総事業費・指標等の推移

		内訳	単位	2021年度	2022年度	2023年度
投入量	事業費	国・道支出金	円		588,000	
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円	4,452,350	2,247,000	12,821,000
		一般財源	円	25,668,111	29,567,254	21,613,000
		事業費計(A)	円	30,120,461	32,402,254	34,434,000
	人件費	正職員従事人数	人	3	2	3
		人工数(業務量)	人工	0.2761	0.2683	
人件費計(B)		円	2,150,574	2,084,876		
		トータルコスト(A+B)	円	32,271,035	34,487,130	
活動指標		購入額	円	30,120,461	32,402,254	34,434,000

## (4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2021年度	2022年度	2023年度
寄附金管理基金繰入金	円	4,137,000	2,247,000	12,821,000
会計年度任用職員労働保険個人負担金(小学校管理費)	円	315,350		
公立学校情報機器整備費補助金	円		588,000	
	円			
	円			
	円			

## 事務事業の成果に関する説明

## 1 主な施策の成果

(1) 情報教育推進のためのパソコン等設置 6,091,540 円

- ・令和3年度 更新導入  
 ~北海道市町村備荒資金組合を利用し、令和7年度までの5年払い  
 小学校4校 プリンタ 33台

(2) 鍵盤ハーモニカ購入費助成金 244,800 円

- 小学1年生を対象に購入費の助成  
 1,800 円 × 124 人 = 223,200 円 …… 全世帯対象分  
 1,800 円 × 12 人 = 21,600 円 …… 要保護・準要保護世帯加算分

(3) 教材消耗品・備品の整備 5,239,370 円

項目	金額	購入物品
教育課程教材消耗品	2,609,793 円	フラットファイル、鉛筆、ミニコンパスほか
教育課程教材備品	2,274,547 円	ラジカセ、スクールタイマー、立体模型ほか
吹奏楽楽器備品	355,030 円	アルトサクソ、ドラムスツール、チューバスタンド

(4) 学校図書館の状況

学校名	R3年度末冊数 A	購入・寄贈 B	廃棄 C	R4年度末冊数 D=A+B-C	図書標準達成率 D/E	図書標準冊数 E
芽室小学校	13,961	114	14	14,061	113.8%	12,360
上美生小学校	6,277	79	683	5,673	111.7%	5,080
芽室西小学校	10,648	176	316	10,508	101.4%	10,360
芽室南小学校	8,251	113	23	8,341	119.2%	7,000
合計	39,137	482	1,036	38,583		

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名			
9	教育費	3	中学校費	1	学校管理費	210120	中学校施設維持管理事業

事務事業名 中学校施設維持管理事業

## (1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 施設の修繕、保守点検、工事。必要備品の購入
2. 対象(何を対象にしているか) 生徒、教職員、学校施設
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 安全・教育に快適な施設を確保する。

## (2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 平成18年度の工事により、中学校の耐震化率が100%となった。平成21年度からは太陽光発電パネルの設置に取り組み、児童の生活スタイルの変化からトイレ洋式化を行った。 各施設は老朽化が進んでいるため、令和元年度に学校施設等長寿命化計画を策定した。 多様な児童が学校で安全に日常生活を過ごせるような対策のほか、GIGAスクールやDX、ゼロカーボンなどを踏まえるとともに各校のニーズを捉えた改修計画を立案していく必要がある。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) 令和5年度は、各校特別教室等に換気付き空調設備を設置、芽中煙突改修工事を実施する。 芽室町立小中学校配置計画と関連して、児童・生徒数の減少に伴い、配置基準を満たさない学校が今後生じる可能性がある。各校とも大規模改修等を経ながらも老朽化は着実に進行しており、修繕が必要な箇所もあるが、長期的な視点に立った改修計画を立案していく。 また、教育を取り巻く環境の変化に合わせた施設改修に関しては、各校のニーズを踏まえた計画となるよう協議に向けた検討を進める。

## (3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2021年度	2022年度	2023年度	
投入量	事業費	国・道支出金	円	45,797,000	18,177,000	10,825,000
		地方債	円	186,500,000	38,300,000	22,100,000
		その他(使用料等)	円	1,676,232	7,588	68,000
		一般財源	円	70,116,561	68,387,136	66,346,000
		事業費計(A)	円	304,089,793	124,871,724	99,339,000
	人件費	正職員従事人数	人	2	3	3
		人工数(業務量)	人工	0.1741	0.4000	
人件費計(B)		円	1,356,456	3,108,913		
トータルコスト(A+B)		円	305,446,249	127,980,637		
活動指標	修繕件数	件	57	43	43	
	工事件数	件	2	3	3	

## (4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2021年度	2022年度	2023年度
学校施設開放事業利用者負担金(中学校管理費)	円		6,300	66,000
太陽光買電収入(中学校管理費)	円	2,232	1,288	2,000
寄附金管理基金繰入金	円	1,674,000		
芽室西中学校学校施設環境改善交付金-R2繰越	円	45,797,000		
芽室西中学校校舎外壁・体育改修事業債-R2繰越	円	186,500,000		
芽室西中学校学校施設環境改善交付金-R3繰越	円		18,177,000	
芽室西中学校内部校舎・体育館改修事業債-R3繰越	円		38,300,000	
中学校施設環境改善交付金-R4繰越	円			10,825,000
中学校施設環境改善事業債-R4繰越	円			22,100,000
	円			
	円			
	円			

## 事務事業の成果に関する説明

**1 学校環境の整備**

・校下の特色ある環境づくりとスケートリンクの整備を進めるため、学校環境整備及びスケートリンク造成費償還と地域PTAの協力、公務補による環境美化整備を図った。

芽室中学校	360,000円
上美生中学校	200,000円
芽室西中学校	300,000円
計	860,000円

**2 学校施設の整備**

芽室西中学校	バスケットゴール改修工事	10,340,000円
芽室西中学校	男子トイレ改修工事	3,465,000円
芽室西中学校	照明設備改修工事	43,725,000円
計		57,530,000円

**3 学校備品の整備**

芽室中	給食配膳台	
	校長室椅子	
	アイスホッケーリンク用ベンチ	
	美術室椅子	
	消火器	
	教室用カラーボックス	
	洗濯機	
上美生中	校長室校長用椅子	
	美術机	
芽室西中	美術室生徒用机	
	美術室生徒用椅子	
	冷蔵庫	
	ガスコンロ	
計		2,307,436円

**4 校務支援システムの導入**

・教職員の限られた勤務時間の中で、児童生徒に接する時間を確保し、真に必要な総合的な指導を持続的に行うことができる状況を作り出すため、校務支援システムを活用し情報の共有化や業務の効率化、事務作業にかかる時間の縮減を図った。

1,632,400円

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名			
9	教育費	3	中学校費	1	学校管理費	210122	教員住宅管理事業

事務事業名 教員住宅管理事業(中)

## (1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 教職員住宅の維持管理(修繕、改修工事等)
2. 対象(何を対象にしているか) 教職員 教職員住宅
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 安全・安心・快適な住環境を確保する。

## (2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 教職員住宅の老朽化の進行や、交通・住環境の整備に伴う需要の低下を踏まえ、茅室町公共施設等総合管理計画、教員住宅の在り方基本方針に基づき、統廃合、維持管理を整理する必要がある。 R4には茅室町教員住宅の在り方基本方針を見直し、麻生町の戸建住宅9棟については、用途廃止することとして方向性を定めたことから、今後処分に向けた手続きを進めていく必要がある。 学校管理職の居住については、条件を満たした場合、居住が必須ではないと整理し、これに伴い一部の管理職用住宅は用途廃止することとした。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) 2023年度は、小学校費、中学校費で運用している本事業を統合し、1事業とする。また、上美生地区の住宅(1棟2戸)の屋根・外壁工事を実施し、建物の長寿命化を図る。 現在の教職員住宅は、築30年を超える住宅ばかりであり、長寿命化、統廃合等を具体的に検討していく時期に差し掛かっている。このことから、改めて入居希望状況等を整理し、今後の具体的な方針を定めていく。

## (3) 総事業費・指標等の推移

		内訳	単位	2021年度	2022年度	2023年度
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円	6,454,000	1,233,200	
		一般財源	円	647,455	△ 482,167	
		事業費計(A)	円	7,101,455	751,033	
	人件費	正職員従事人数	人	2	3	
		人工数(業務量)	人工	0.1010	0.0440	
人件費計(B)		円	786,498	342,031		
		トータルコスト(A+B)	円	7,887,953	1,093,064	
活動指標	修繕件数		件	8	15	
	工事数(対象戸数)		戸	1		

## (4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2021年度	2022年度	2023年度
教員住宅(中学校)貸付収入	円	1,454,000	1,233,200	
公共施設整備基金繰入金	円	5,000,000		
	円			
	円			
	円			
	円			

## 事務事業の成果に関する説明

## 1 教職員住宅の整備

(1)教職員住宅の居住環境を整えるため、以下の修繕を実施した。

芽室西中学校 校長宅水抜栓修繕	29,656円
麻生教員住宅F11-1 TV共聴分配器修理	8,030円
上美生中学校教員住宅屋根トタン修理	42,350円
上美生中学校 校長宅 玄関鍵修繕費	9,000円
上美生中学校教頭宅 網戸張替修繕	3,080円
上美生中学校教頭住宅基礎補修、階段補修修繕	44,000円
上美生中学校教頭住宅屋根修繕	149,600円
麻生町教員住宅アミ戸修繕	4,400円
上美生教員住宅(T-7)汚水樹詰り修繕	80,982円
麻生町教員住宅F-14-2 給油水抜バルブ点検修繕	77,858円
上美生中学校 職員住宅トイレ修繕	57,200円
上美生中学校 校長住宅玄関ドア ガラス修繕	99,000円
芽室西中 校長住宅 玄関鍵修繕	33,000円
麻生町教員住宅-11-3 トイレ水漏れ修繕	3,300円
西中教員住宅N-1浴室水栓取替等修繕	91,850円
	<hr/>
	733,306円

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名			
9	教育費	3	中学校費	1	学校管理費	210226	特別支援教育就学奨励事業(中学校)

事務事業名 特別支援教育就学奨励事業(中学校)

## (1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) ・学校教育法、特別支援学校への就学奨励に関する法律に基づき、特別支援学級に通学する生徒の保護者に対し、就学に必要な経費の一部補助を行う。
2. 対象(何を対象にしているか) 特別支援学級に通学する生徒の保護者
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 保護者の経済的負担を軽減する

## (2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 ・2018年度より、特別支援教育就学奨励費補助金(国庫補助)の助成単価のうち、新入学用品費等の金額が上がったことから、新入学用品費の支給額を増額して支給している。 ・2022年度より、生徒用タブレットを日常的な家庭学習のために持ち帰った際、各家庭でwifi環境を整備する必要があることから、オンライン学習通信費の支給を行っている。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) 国庫補助要綱に基づき、適正に支給していく。

## (3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2021年度	2022年度	2023年度	
投入量	事業費	国・道支出金	円	261,000	260,000	595,000
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円			
		一般財源	円	260,564	259,614	596,000
	事業費計(A)	円	521,564	519,614	1,191,000	
	人件費	正職員従事人数	人	3	2	3
		人工数(業務量)	人工	0.0542	0.0468	
人件費計(B)		円	422,308	363,593		
トータルコスト(A+B)		円	943,872	883,207		
活動指標	生徒	人	626	579	550	

## (4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2021年度	2022年度	2023年度
特別支援教育就学奨励費等国庫補助金	円	261,000	260,000	595,000
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			

## 事務事業の成果に関する説明

## 1 就学奨励費内訳

項 目	人 数	金 額
学 校 給 食 費	8 人	221,934 円
修 学 旅 行 費	2 人	57,720 円
校外活動等参加費(宿泊を伴うもの)	3 人	9,315 円
学用品・通学用品費購入	8 人	90,960 円
新入学児童学用品・通学用品購入費	3 人	86,970 円
体育実技用具費(スキー等)	3 人	17,715 円
オンライン学習通信費	5 人	35,000 円
計		519,614 円

※オンライン学習通信費は令和4年度新設。

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名			
9	教育費	3	中学校費	1	学校管理費	210228	要・準要保護生徒就学援助事業(中学校)

## 事務事業名 要・準要保護生徒就学援助事業(中学校)

## (1) 事務事業の目的と効果

## 1. 手段(事業の概要)

就学困難な生徒の保護者に対し、就学に必要な経費の一部補助を行う。(要保護世帯の生徒は修学旅行費が補助対象)

## 2. 対象(何を対象にしているか)

就学困難な生徒の保護者に対し、就学に必要な経費の一部補助を行う。(要保護世帯の生徒は修学旅行費が補助対象)

## 3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)

就学困難な生徒の保護者の経済的負担を軽減する。

## (2) 事務事業の現状と今後の取組

## 1. 事務事業の現状と課題

- ・就学困難な生徒の保護者に対し、就学に必要な経費の一部補助を行う。(要保護世帯の生徒は修学旅行費が補助対象)
- ・2018年度新入学生徒から、新入学用品費の入学前支給を実施した。(2月末支給)
- ・2019年度については、要保護児童生徒援助費補助金の新入学用品費の金額が上がったことから、新入学前支給の金額についても増額して支給を行った。
- ・2019年度より、卒業アルバム費等の支給項目が追加されたことから、中学校第3学年のアルバム注文者の生徒世帯に、卒業アルバム費の支給を行っている。
- ・2022年度より、生徒用タブレットを日常的な家庭学習のために持ち帰った際、各家庭でwifi環境を整備する必要があることから、オンライン学習通信費の支給を行っている。
- ・援助が必要な世帯に援助ができるよう、周知に努める。

## 2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策)

- ・法に基づき、適正に支給する。

## (3) 総事業費・指標等の推移

		内訳	単位	2021年度	2022年度	2023年度
投入量	事業費	国・道支出金	円	31,000	52,000	
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円			
		一般財源	円	12,819,995	11,740,399	12,414,000
		事業費計(A)	円	12,850,995	11,792,399	12,414,000
	人件費	正職員従事人数	人	3	2	3
		人工数(業務量)	人工	0.2047	0.1902	
人件費計(B)		円	1,594,905	1,478,158		
トータルコスト(A+B)		円	14,445,900	13,270,557		
活動指標	生徒数	人	626	579	550	

## (4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2021年度	2022年度	2023年度
要保護児童生徒援助費国庫補助金	円	31,000	52,000	
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			

## 事務事業の成果に関する説明

## 1 就学援助費内訳

項目	支給人数	金額
学用品費	82人	1,801,368円
通学用品費等	82人	304,498円
新入学学用品費	1人	60,000円
P T A 会費	80人	228,250円
生徒会費	82人	48,189円
部活動費	56人	1,040,531円
体育実技用具費	26人	307,060円
修学旅行費	24人	1,220,556円
給食費	82人	4,255,425円
卒業アルバム費	25人	220,000円
オンライン学習通信費	82人	1,109,522円
計		10,595,399円

※オンライン学習通信費は令和4年度新設。

## 2 就学援助認定率(年度末)

学校名	生徒数	認定者数	認定率
芽室中学校	426人	59人	13.85%
上美生中学校	17人	2人	11.76%
芽室西中学校	136人	23人	16.91%
町外中学校		1人	
計		85人	

## 3 新入学用品費入学前支給

学校名	支給人数	金額
芽室中学校	15人	945,000円
上美生中学校		
芽室西中学校	4人	252,000円
計	19人	1,197,000円

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名			
9	教育費	3	中学校費	1	学校管理費	210241	学校健康診断実施事業(中学校)

事務事業名 学校健康診断実施事業(中学校)

## (1) 事務事業の目的と効果

## 1. 手段(事業の概要)

学校健診(内科検診、歯科検診、尿検査、心臓健診等)を実施する。  
また、町単独の事業として生活習慣病検査(血液検査)を中学校1年生の生徒を対象に実施する。  
教職員の福利厚生充実のため、教職員を対象とした、健康診断も実施する。

## 2. 対象(何を対象にしているか)

中学校の生徒  
中学校の教職員

## 3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)

身体の異常の早期発見と適切な指導を行う。

## (2) 事務事業の現状と今後の取組

## 1. 事務事業の現状と課題

学校保健安全法に基づき学校健診を行うことにより、生徒の健康の保持増進を図り、学校教育の円滑な実施を図る。

## 【現状】

- ・中学校1年生を対象にした、生活習慣病検査は学校保健安全法に規定されている健診ではなく、町独自で実施している検査であり、将来への生活習慣病予防のきっかけづくりとなっている。
- ・2021年度から会場を公立芽室病院に変更した。
- ・2020年度と比較し、受診率は低下したが、所見がみられる生徒に受診を勧奨したため、要指導・要治療率は増加しており、以前に比べ生活習慣病のリスクがある生徒への早期発見・早期介入となっている。

## 2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策)

## 【解決策】

- ・生活習慣病検査について、中学校1年生の希望者に加え、新たに学校の2計測(身長・体重)から算出したローレル指数、BMI指数において所見が見られる生徒も対象とする。
- ・栄養教諭が実施する「食に関する指導」に生活習慣病予防の内容を中1以降に加える。
- ・町の保健師や栄養士から、生活習慣病予防の知識啓発となる情報を学校に提供し、保健室掲示や、保護者向けの保健だよりに、生活習慣病予防に係る正しい知識の啓発を盛り込む。
- ・上記の取組を2023年度においても継続することで、検査を受診しない生徒やその保護者に対しても、生活習慣病予防について情報発信をし、町内生徒の健康改善に繋げる。

## (3) 総事業費・指標等の推移

		内訳	単位	2021年度	2022年度	2023年度
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円			
		一般財源	円	6,151,661	5,238,724	6,341,000
		事業費計(A)	円	6,151,661	5,238,724	6,341,000
	人件費	正職員従事人数	人	3	2	3
		人工数(業務量)	人工	0.1675	0.1797	
人件費計(B)		円	1,304,690	1,396,445		
		トータルコスト(A+B)	円	7,456,351	6,635,169	
活動指標	各種健康診断受診者延人数	人	1,993	1,883	1,800	
	各種健康診断受診者数(教職員)	人	69	64	62	

## (4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2021年度	2022年度	2023年度
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			

## 事務事業の成果に関する説明

## 1 主な施策の成果

## (1) 生活習慣病検査の実施

607,020 円

## ①検査会場

公立芽室病院を会場とし、保護者同伴のもとで血液検査を実施。

## ②受診対象者

中学1年生に加え、学校の2計測(身長・体重)から算出したローレル指数、BMI指数において所見が見られる生徒

## ・他関係課との連携状況

検査結果を公立芽室病院の医師が判断し、要治療・要指導とされた生徒とその保護者に対して、町の保健師・栄養士による個別相談を実施。

## ・受診率等

	中学1年生	中学有所見者	中学計
受診率	33.1%(58/175)	25.7%(9/35)	31.9%(67/210)
要治療・要指導率	13.8%(8/58)	22.2%(2/9)	14.9%(10/67)

## (参考:令和3年度受診率等)

	中学1年生	中学有所見者	中学計
受診率	46.5%(92/198)	45.7%(21/46)	46.3%(113/244)
要治療・要指導率	8.7%(8/92)	38.1%(8/21)	14.2%(16/113)

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名			
9	教育費	3	中学校費	1	学校管理費	210242	教材・教具整備事業(中学校)

事務事業名 教材・教具整備事業(中学校)

## (1) 事務事業の目的と効果

## 1. 手段(事業の概要)

中学校3校の教育課程に係る備品、消耗品及び図書等の購入・整備を行う。

## 2. 対象(何を対象にしているか)

中学校3校の生徒と教職員

## 3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)

授業の実施状況に合わせた教材・教具を整備することにより、効率的な授業の実施等、学校教育の充実を図る。

## (2) 事務事業の現状と今後の取組

## 1. 事務事業の現状と課題

・町内中学校の授業等で必要な教材・教具及び学校図書の購入・維持管理。  
 ・2019年度より、校務用・教育用コンピューター等の計画更新を行っている。  
 ・2020年度より、ICT整備・活用指針に基づき、GIGAスクール構想の実現に向けた環境整備を行っている。

## 【課題】

・子どもの確かな学力と社会の変化に対応できる力の育成のため、各学校が個々の教育的ニーズに応じたきめ細やかな指導の充実を図る必要がある。  
 ・令和7年度に生徒用タブレットの更新時期を迎えるが、更新方法について検討が必要である。

## 2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策)

・以下のスケジュールで校務用パソコン、パソコン教室用(中学校のみ)パソコン及び周辺機器等の更新を進める。(備荒資金の利用を予定)

2023年度 上美生中学校

## 【解決策】

・茅室町教育委員会に「教育DX推進員」を配置し、町のICT教育の指針を充実させ、ICT教育の授業改善・推進を図ることで、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現を目指す。  
 ・令和7年度の生徒用タブレットの更新に向け、国庫補助の情報収集やBYOD(自分の端末使用)も含め検討を行う。

## (3) 総事業費・指標等の推移

		内訳	単位	2021年度	2022年度	2023年度
投入量	事業費	国・道支出金	円		441,000	
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円	2,550,000	1,000,000	15,590,000
		一般財源	円	31,250,901	31,587,217	21,317,000
		事業費計(A)	円	33,800,901	33,028,217	36,907,000
	人件費	正職員従事人数	人	3	2	3
		人工数(業務量)	人工	0.3216	0.3147	
人件費計(B)		円	2,505,547	2,445,560		
		トータルコスト(A+B)	円	36,306,448	35,473,777	
活動指標	購入額		円	33,800,901	33,028,217	36,907,000

## (4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2021年度	2022年度	2023年度
寄附金管理基金繰入金	円	2,550,000	1,000,000	15,590,000
公立学校情報機器整備費補助金	円		441,000	
	円			
	円			
	円			
	円			

## 事務事業の成果に関する説明

## 1 主な施策の成果

(1) 情報教育推進のためのパソコン設置 14,985,088 円

- ・令和元年度 更新導入  
～北海道市町村備荒資金組合を利用し、令和5年度までの5年払い 6,545,434 円  
芽室西中学校 パソコン 70台 プリンタ 10台
- ・令和2年度 更新導入  
～北海道市町村備荒資金組合を利用し、令和6年度までの5年払い 8,437,138 円  
芽室中学校 パソコン 82台 プリンタ 12台
- ・令和4年度 更新導入  
～北海道市町村備荒資金組合を利用し、令和8年度までの5年払い 2,516 円  
上美生中学校 プリンタ 2台  
芽室西中学校 アクセスポイント 1台

(2) 教材消耗品・備品の整備 3,943,272 円

項目	金額	購入物品
教育課程教材消耗品	1,841,322 円	ワトソン紙、ピアノ線、ピーカーほか
教育課程教材備品	1,611,950 円	ビデオカメラ、電気アイロン、電動ドリルほか
吹奏楽備品	490,000 円	トロンボーン

(3) 学校図書館の状況

学校名	R3年度末冊数 A	購入・寄贈 B	廃棄 C	R4年度末冊数 D=A+B-C	図書標準達成率 D/E	図書標準 冊数
芽室中学校	15,700	218	297	15,621	114.9%	13,600
上美生中学校	6,795	173	121	6,847	112.6%	6,080
芽室西中学校	10,927	161	257	10,831	127.7%	8,480
合計	33,422	552	675	33,299		

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名			
9	教育費	4	社会教育費	1	社会教育総務費	220103	少年教育活動運営事業

事務事業名 少年教育活動運営事業

## (1) 事務事業の目的と効果

<p>1. 手段(事業の概要)</p> <p>少年少女国内研修事業(友好都市訪問事業)、西部十勝野外活動体験研修事業「クマガラの村キッズキャンプ」、ジュニアリーダーコース道東派遣、フレンドリーコンサート、子どもわんぱくキャンプ、メモオロ太鼓保存会子どもの部活動報償、寺子屋めむろ夏・冬、奈井江町児童生徒との標語作品交流、ジモト大学</p>
<p>2. 対象(何を対象にしているか)</p> <p>芽室町内在住の児童・生徒</p>
<p>3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)</p> <p>異なる年齢や地域間の交流を通じてリーダーを育成する。</p>

## (2) 事務事業の現状と今後の取組

<p>1. 事務事業の現状と課題</p> <p>様々な体験活動をととして、子どもたちの豊かで健やかな心を育む。 集団生活をととして形成される協調性や自然体験の中での経験が、子どもたちの発達段階ごとの成長に影響を持つと考えられることから、その重要性が求められる。 少年期に地域での豊かな体験活動の機会を持つことにより、郷土愛の醸成を図る。</p>
<p>2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策)</p> <p>ジモト大学については以下2点を目標に、事業関係者の拡大を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内高校2校との連携企画を実施</li> <li>・芽室駅前に中高生を呼び込み、地域住民との交流機会が創出される、中高生が実施主体となる企画を実施</li> </ul> <p>各事業の実施によりどのような変容・成果が見られたか、活動量等の数値的表現または参加者の感想等言語的表現により、体験的活動及び集团的活動の価値の明確化を図る。</p>

## (3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2021年度	2022年度	2023年度	
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円	409,854	725,230	897,000
		一般財源	円	4,412,335	2,064,143	3,274,000
		事業費計(A)	円	4,822,189	2,789,373	4,171,000
	人件費	正職員従事人数	人	4	4	4
		人工数(業務量)	人工	0.6980	0.7964	
人件費計(B)		円	5,437,257	6,189,310		
トータルコスト(A+B)		円	10,259,446	8,978,683		
活動指標	事業数	回	7	10	10	

## (4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2021年度	2022年度	2023年度
社会教育受講料・個人負担金	円	9,800	425,230	597,000
会計年度任用職員労働保険個人負担金(社会教育総務費)	円	400,054		
地域づくりセミナー開催支援金	円		300,000	300,000
	円			
	円			
	円			

## 事務事業の成果に関する説明

- 1 少年少女国内研修 1,597,385円／参加者負担金 400,960円(28,640円/人)
  - (1)派遣:7月26日～29日 3泊4日 参加者:小学5・6年生14人  
岐阜県揖斐川町ほか
  - (2)揖斐川町研修生の受入:8月19日～23日 4泊5日 受入人数:12人  
町内で農業体験、芽室西小学校との交流ほか
- 2 寺子屋めむろ 15,000円  
小・中学生の長期休業中の地域体験学習事業
  - (1)夏:ゲートボール・ドローン体験 7月29日(金) 9:45～12:00 参加者:16人
  - (2)冬:メムオロ太鼓体験・書道体験 12月28日(水) 8:45～11:30 参加者:19人
- 3 わんぱくキャンプ 56,756円／参加者負担金 18,270円(630円/人)  
小学生の集団宿泊体験事業(防災学習)、ジュニアリーダーの育成  
日時:8月3～4日(1泊2日) 参加者:小学3～4年生16人、小学5～6年生9人  
場所:芽室西小学校
- 4 フレンドリーコンサート 168,395円  
吹奏楽の発表、鑑賞及び演奏者の交流機会の提供  
日時:1月28日(土) 13:00～15:00 場所:芽室町中央公民館  
出演者:町内小・中・高校6校吹奏楽部員119人 入場者数:324人
- 5 西部十勝野外活動体験研修事業 205,900円／参加者負担金 6,000円(1,000円/人)  
異年齢、他市町村との合同集団宿泊体験事業、ジュニアリーダーの育成
  - (1)事前研修 3月18日～19日(日帰り)
  - (2)本研修 3月25日～26日(日帰り)
 参加者:16人(うち芽室町6人) 場所:清水町文化センター
- 6 芽室ジモト大学 625,458円
  - (1)大学生とかたろうかい(4月25日)  
場所:オンライン 参加者:21人
  - (2)横野純貴選手のMEMURO LIFE(6月20日)  
場所:芽室中学校、町営サッカー場 参加者:28人
  - (3)サイクル企画(6月12日～12月6日 合計8回)  
場所:町内各所 参加者:合計8人(のべ37人)
  - (4)大正大学連携企画(ジモト大学フォーラム)
    - ・中学校訪問 9月9日 場所:芽室中、上美生中、芽室西中  
対象者:芽室中2年、上美生中3年、芽室西中3年
    - ・ジモト大学フォーラム 9月9日～10日 場所:めむろ一どセミナーホール 参加者:56人
- 7 メムオロ太鼓保存会 10,000円  
郷土芸能メムオロ太鼓保存会の活動を支援  
少年の部会員数:4人
- 8 「ジュニアリーダーコースinネパールあしよろ」への参加 7,600円  
1月7日～8日 1泊2日  
場所:道立青少年体験活動支援施設ネパール足寄 参加者:管内の中高生30人程度(うち芽室中2人)
- 9 奈井江町児童生徒との標語作品交流  
芽室町・奈井江町児童生徒標語作品の双方での展示  
芽室町での作品展示開始日:2月3日

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名			
9	教育費	4	社会教育費	1	社会教育総務費	220702	コミュニティ・スクール運営事業

事務事業名 コミュニティ・スクール運営事業

## (1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 地域学校協働活動(学校支援ボランティア、地域学校協働活動本部会議)、学校運営協議会へのCSコーディネーターの参加。
2. 対象(何を対象にしているか) 町民
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 保護者や地域住民等が児童生徒や教育活動に積極的に参画してほしい。

## (2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 ・新型コロナウイルスによる行動制限が緩和(解除)されたことによる、活発な地域学校協働活動の実施。 ・学校とCSコーディネーター、地域と学校との関係づくり。 ・学校への学校支援ボランティア活動の理解浸透及び、活動の充実。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) ・CSコーディネーターが担当区の学校運営協議会の委員となり、学校課題の把握、支援に向けボランティアへのスムーズな調整、コーディネーターの活動の周知などを行う。 ・学校と連携を密にし、新しいメニューの支援拡充に力を入れ、活発な活動につなげていく。 ・町民やPTAなどへの広報活動とボランティア登録の呼びかけを行い、SNSを活用して活動の様子を発信していく。 ・ボランティア登録者と学校(教諭・生徒・児童)との意見交流を行い、活動に対する共通理解につなげる。

## (3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2021年度	2022年度	2023年度	
投入量	事業費	国・道支出金	円		484,000	1,067,000
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円		647,179	496,000
		一般財源	円		7,034,472	5,930,000
		事業費計(A)	円		8,165,651	7,493,000
	人件費	正職員従事人数	人		4	4
		人工数(業務量)	人工		0.1260	
人件費計(B)		円		979,223		
トータルコスト(A+B)		円		9,144,874		
活動指標	ボランティア実施回数	回		104	104	

## (4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2021年度	2022年度	2023年度
地域学校協働活動推進事業道補助金	円		484,000	1,607,000
会計年度任用職員労働保険個人負担金(社会教育総務費)	円		647,179	496,000
	円			
	円			
	円			
	円			

## 事務事業の成果に関する説明

## 1 地域学校協働活動(コミュニティ・スクール)

(1)地域学校協働本部会議開催 (第1回:5月24日、第2回:2月27日)

(2)学校支援ボランティア活動回数

	活動回数	活動人数	活動時間
芽室小学校	33回	90人	94.75h
上美生小学校	29回	68人	25.50h
芽室西小学校	9回	24人	46.50h
芽室南小学校	11回	16人	25.75h
芽室中学校	1回	5人	5.00h
上美生中学校			
芽室西中学校	4回	7人	4.25h
その他	17回	79人	104.00h
合計	104回	289人	305.75h

(3)地域学習等講師派遣回数

	活動回数	活動人数	活動時間
芽室小学校	1回	1人	2.75h
上美生小学校	1回	1人	0.75h
芽室西小学校	1回	1人	1.00h
芽室南小学校			
芽室中学校	9回	25人	57.75h
上美生中学校	3回	3人	4.50h
芽室西中学校	1回	1人	8.00h
その他	1回	1人	1.50h
合計	17回	33人	76.25h

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名			
9	教育費	4	社会教育費	2	公民館費	220202	公民館施設維持管理事業

事務事業名 公民館施設維持管理事業

## (1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 住民の様々な生涯学習の活動や発表の場の提供のため、施設の維持管理を行う
2. 対象(何を対象にしているか) 町民
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 町民の生涯学習に対する要望に応えるべく、施設を維持管理する

## (2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 町民の様々な生涯学習の活動や発表の場の提供のため、施設の維持管理を行う。改修工事を行っていない部分については徐々に劣化が進んでおり、計画的な修繕を検討する必要がある。2022年から教育支援センター「ゆうゆう」とめむろ町民活動支援センターが公民館に移転した。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) 施設管理にあたり、長寿命化計画を作成するなど、中長期的な視野に立ち、施設修繕等を行う。

## (3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2021年度	2022年度	2023年度	
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円	6,121,721	3,636,787	22,924,000
		一般財源	円	49,347,581	44,703,619	43,790,000
		事業費計(A)	円	55,469,302	48,340,406	66,714,000
	人件費	正職員従事人数	人	4	4	4
		人工数(業務量)	人工	0.1705	0.0722	
人件費計(B)		円	1,328,155	561,110		
トータルコスト(A+B)		円	56,797,457	48,901,516		
活動指標	開館日数	日	284	353	353	

## (4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2021年度	2022年度	2023年度
公民館使用料	円	1,691,969	3,062,598	2,497,000
公民館自動販売機等使用料	円	84,097	86,019	107,000
公民館講座受講料	円	374,375	488,000	420,000
私用電話料	円	280	170	1,000
寄附金管理基金繰入金	円	971,000		
公共施設整備基金繰入金	円	3,000,000		19,899,000
	円			

## 事務事業の成果に関する説明

## 1 芽室町中用公民館の維持管理及び運営

## (1) 指定管理の状況

- ① 5か年(令和2年4月1日～令和7年3月31日)の基本協定書に基づき、管理業務を委託
- ② 令和4年度指定管理者年度協定書の締結(年額委託料45,954,000円)

## (2) 指定管理事業者による中央公民館の運営

- ① 受付、警備業務
- ② 日常清掃及び特別清掃業務
- ③ エレベーター保守点検、電気保守点検、ボイラー保守点検、大ホール舞台吊物設備保守点検等の実施

## (3) 指定管理事業者による中央公民館の運営

## ① 公民館講座の開設

成人向け講座・・・企画34講座 実施講座33講座、中止講座1講座(申込少数により中止)  
(実参加者数334人 延べ参加者数1,032人)

ステンドグラス、ナチュラル・ハッチワークキルト、羊毛フェルト、簡単リンパケア、書道アカデミー他

児童・生徒向け・・・企画8講座 実施講座数8講座

(実参加者数140人 延べ参加者数179人)

バルシューレ、テンプルアート作り、スノードーム作り、シナプソロジー講座他

## ② その他の事業

- ・管内他施設で実施されるコンサートのチケット販売(取扱数:15事業)
- ・利用者アンケートの実施
- ・指定管理者自主企画(避難訓練コンサートinめむろ、ク라운・オン・ザ・ステージ、アフタヌーンコンサートVol2)

## (4) 利用状況

区分	利用延件数	利用延人数	利用日数
展示ホール	189	12,557	185
大ホール	342	14,802	210
リハーサル室	550	5,967	312
講堂	339	11,026	237
研修室	400	5,597	288
図書資料室	417	5,037	279
会議室1	141	765	138
会議室2	122	993	111
美術工芸室	320	2,047	246
三階和室	137	784	119
視聴覚室	193	2,443	157
調理実習室	58	416	56
合計	3,208	62,434	

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用延件数	3,090	3,040	3,011	2,491	2,372	3,208
利用延人数	84,908	77,037	75,786	40,483	48,162	62,434

## (5) その他(主な指定管外経費)

## 修繕費

- ・2階男子トイレ壁タイル修繕 176,000円
- ・冷暖切替用電動二方弁修繕 550,000円
- ・美術工芸室陶芸窯ヒーター線取替修繕 715,000円

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名			
9	教育費	4	社会教育費	3	図書館費	220301	図書館維持管理事業

事務事業名	図書館維持管理事業
-------	-----------

## (1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 施設、建物、敷地内の維持管理 各種統計業務
2. 対象(何を対象にしているか) 建物、敷地内施設、図書館利用者、町民
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 利用環境の快適さ及び利用者数を増やす

## (2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 人びとが行きかい集う市街地中心部の施設として複合的な役割を果たしている。資料の閲覧貸出という図書館本来の機能を中心に、喫茶コーナー、ボランティア団体の活動場所、親子・家族のレクリエーション、学習利用、閲覧席での調査研究、及び視聴覚コーナー利用、イベント参加、町外からの来館者など、多様な利用がなされているとともに、適切な維持管理、改修、アップグレードを継続し、安心・安全・快適に利用される施設となっている。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) 令和5年度は老朽化したブックポストの更新を実施するとともに、施設敷地も維持管理に努め利用ニーズに応えていく。

## (3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2021年度	2022年度	2023年度	
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円	3,113,743	19,124	424,000
		一般財源	円	12,550,363	18,794,928	15,218,000
	事業費計(A)	円	15,664,106	18,814,052	15,642,000	
	人件費	正職員従事人数	人	2	2	2
		人工数(業務量)	人工	0.4020	0.3819	
人件費計(B)		円	3,131,486	2,967,978		
トータルコスト(A+B)		円	18,795,592	21,782,030		
活動指標						

## (4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2021年度	2022年度	2023年度
図書館喫茶コーナー使用料	円	8,263	9,474	92,000
図書館資料複写代	円	5,960	8,950	5,000
私用電話料(図書館)	円	520	700	1,000
公共施設整備基金繰入金	円	3,000,000		
寄附金管理基金繰入金	円	99,000		
森林環境譲与税基金繰入金	円			326,000
	円			

## 事務事業の成果に関する説明

## ■令和4年度利用者数

資料貸出者数 31,200人(前年度 26,218人)

行事利用者数 6,727人(前年度 2,808人)

合計 37,927人(前年度 29,026人)

## ■令和4年度工事請負費

## ①芽室町図書館北側出入口床ゴムチップタイル舗装工事

工期 令和4年5月20日～令和4年7月6日

工事概要 北側出入口ゴムチップ舗装

## ②芽室町図書館暖房用循環ポンプ取替工事

工期 令和4年5月2日～令和4年7月29日

工事概要 暖房用循環ポンプ7台取替

## ③芽室町図書館BM車庫オーバードア補修工事

工期 令和4年12月26日～令和5年2月1日

工事概要 オーバードア補修

## ④物置移設工事

令和4年11月21日実施

譲与された物置を設置

建設事業等の説明 (単位：円)						
事業(工事)名 及び事業内容	事業費	財源内訳				備考
		国道支出金	起債	その他	一般財源	
芽室町図書館 北側出入口床 ゴムチップタイル 舗装工事  ゴムチップ舗装	1,166,000				1,166,000	(株)佐野工務店 R4. 5. 20～R4. 7. 6
芽室町図書館 暖房用循環 ポンプ取替工事  ポンプ7台交換	1,298,000				1,298,000	(有)高橋ボイラー設備工業 R4. 5. 2～R4. 7. 29
芽室町図書館 BM車庫オーバー ドア補修工事  オーバードア補修	825,000				825,000	(株)佐野工務店 R4. 12. 26～R5. 2. 1
物置移設工事  物置設置	88,000				88,000	(有)犬飼建設 R4. 11. 21実施
合 計	3,377,000				3,377,000	

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名			
9	教育費	4	社会教育費	3	図書館費	220302	図書・視聴覚資料の貸出・保存事業

事務事業名 図書・視聴覚資料の貸出・保存事業

## (1) 事務事業の目的と効果

## 1. 手段(事業の概要)

利用者への資料提供(閲覧・貸出)  
資料の取得・管理・保存  
延滞者への返却督促  
蔵書点検

## 2. 対象(何を対象にしているか)

図書館利用登録者、資料、町民

## 3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)

適切に資料を管理し、利用者へ提供する

## (2) 事務事業の現状と今後の取組

## 1. 事務事業の現状と課題

電子図書の導入について補正予算が成立したことから、町民の読書活動に大きく役立つよう、実際の供用に向けて準備していく。コロナ禍も落ち着きが見えたところで紙の本の利用も復活しつつあり、展示企画や滞在利用への環境整備などを充実させている。学習利用も含めて青少年の利用がのびつつあり、青少年を含めた町民全体の生涯学習施設の意義が高まっている。

## 2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策)

電子図書の浸透や活用増大を目指して啓発活動やコンテンツの充実を図る。郷土資料や行政資料を電子図書館の場でアーカイブ化し、将来に向けて重要な資料の蓄積を提供できるようにしていく。また紙の本との関係性も、係で想定するもの、利用者が使いながら定着していくものを見極めながら、より良い事業となるよう進めていく。

## (3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2021年度	2022年度	2023年度	
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円	6,918,700	7,689,325	4,823,000
		一般財源	円	3,444,341	2,771,524	5,604,000
	事業費計(A)	円	10,363,041	10,460,849	10,427,000	
	人件費	正職員従事人数	人	2	2	2
		人工数(業務量)	人工	0.6131	0.6105	
人件費計(B)		円	4,775,906	4,744,568		
トータルコスト(A+B)		円	15,138,947	15,205,417		
活動指標						

## (4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2021年度	2022年度	2023年度
寄附金管理基金繰入金	円	6,891,000	7,683,000	4,822,000
図書館資料紛失等弁償金	円	27,700	6,325	1,000
	円			
	円			
	円			
	円			

## 事務事業の成果に関する説明

- 1 図書購入費 7,262,943円  
 (1) 一般書 3,033冊(前年度2,784冊)  
 (2) 児童書 1,508冊(前年度1,473冊)  
 計 4,541冊(前年度4,257冊)
- 2 視聴覚資料購入費 878,046円  
 (1) CD,DVD 69点(前年度97点)
- 3 図書資料費 1,005,159円  
 (1) 雑誌 67誌 762冊(前年度806冊)  
 (2) 新聞 10紙
- 4 利用登録者数 15,594人(前年度15,136人) ※ 団体登録、相互貸借図書館を含む。

## 5 図書館貸出利用者数内訳

区分	図書館資料の利用者数							団体	小計	事業	合計	
	幼児		小学生		中学生							一般
	0~5	6~12	13~15	16~22	23~39	40~59	60~					
R3	1,216	2,287	363	628	4,072	7,665	9,660	327	26,218	2,808	29,026	
R4	1,076	3,005	374	496	4,656	9,131	12,077	385	31,200	6,727	37,927	

## 6 図書・雑誌資料別貸出状況

区分	貸出冊数	
	令和3年度	令和4年度
一般書	63,116	71,025
児童書	50,243	57,027
雑誌	9,370	10,223
合計	122,729	138,275

## 7 視聴覚資料貸出・館内視聴状況

区分	令和3年度	令和3年度 館外(再掲)	令和4年度	令和4年度 館外(再掲)
カセット	0	0	12	12
CD	1,087	1,070	958	944
ビデオ	165	50	188	28
LD	112		174	
DVD	2,861	2,571	2,876	2,531
合計	4,225	3,691	4,208	3,515

## 8 蔵書点検の実施

- (1) 実施期間 令和4年6月28日～7月3日  
 (2) 点検資料数 121,920点  
 (3) 不明資料数 6点

## 9 未返却などの督促

- (1) 対象者数 64人  
 (2) 対象冊数 171冊

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名			
9	教育費	4	社会教育費	5	ふるさと歴史館費	220111	ふるさと歴史館運営費

事務事業名 ふるさと歴史館運営事業

## (1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 体験指導員1名の報酬、各種事業の開催(月別体験学習、歴史館講座、年輪フェスティバル、団体体験学習の受入れ及び指導)、収蔵資料の現状調査、各種事業の周知及び送迎バスの運行、帯広百年記念館運営連絡協議会への参加
2. 対象(何を対象にしているか) 施設来館者(町内、町外在住者)、各種主催事業参加者
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 郷土学習・体験学習の場を提供し、郷土の歴史について理解を深める機会を提供する。

## (2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 体験型資料館としての特色を活かし、来館者に対するものづくり体験の場を提供することで、郷土の歴史や文化に対する理解を深めてもらうことを目的としている。事業のマンネリ化が課題となっており、もの作り体験については、ふるさと歴史館らしさのあるメニューを用意していく必要がある。なお、2022年度については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響はあったものの体験型イベントである「年輪フェスティバル」などを開催した。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) 町の歴史・文化に興味を持ってもらえるような事業プロプログラムを検討、実施し、入館者の増加につなげていく。町の歴史・文化を後世まで伝承するという役割を果たすため、郷土資料の収集・保存、展示、活用を継続して行っていく。

## (3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2021年度	2022年度	2023年度	
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円	376,718	394,981	248,000
		一般財源	円	2,984,253	3,543,364	3,312,000
		事業費計(A)	円	3,360,971	3,938,345	3,560,000
	人件費	正職員従事人数	人	4	4	4
		人工数(業務量)	人工	0.1248	0.1552	
人件費計(B)		円	972,163	1,206,154		
トータルコスト(A+B)		円	4,333,134	1,206,154		
活動指標	各種事業実施回数	回	14	16	16	

## (4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2021年度	2022年度	2023年度
会計年度任用職員労働保険個人負担金(ふるさと歴史館費)	円	376,718	394,981	248,000
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			

## 事務事業の成果に関する説明

## ①施設利用状況

	入館者数			団体体験学習	
	町内	町外	全体	団体数	利用者数
H30	1,795	2,542	4,337	54	1,085
R1	1,639	1,940	3,579	47	844
R2	810	886	1,696	28	434
R3	960	976	1,936	28	837
R4	907	879	1,786	26	446

※団体体験学習(R4)は、11種類の工作メニューから選択

(ミニブック、ストローゴマ、マカロンキーホルダー、木枝のかけらのキーホルダー、フォトフレーム、牛乳パックのロケットとばしゲーム、ペットボトルのケン玉、お菓子のキャンドル、紙とんぼ、スライム、釣りゲーム)

## ②主催事業

- ・ねんりんフェスティバル 2月19日 163名参加
- ・企画展示「昔の教科書展」 7月14日～8月29日 416名(期間中入館者)
- ・歴史館講座「小麦の脱穀・製粉を体験しよう」  
9月17日、18日 27名参加

## ・月替わり体験学習 ※毎月第2・4土・日曜日実施

- 4月／ラップ芯の小物入れ 4名
- 5月／おうちのメッセージカード(中止) 0名
- 6月／和綴じのメモ帳 19名
- 7月／的当てゲーム 18名
- 8月／ビッグヨーヨー 1名
- 9月／ぐにゃぐにゃダコ 10名
- 10月／ハロウインのミニハット 2名
- 11月／クリスマスオーナメント 16名
- 12月／ダンボールの羽子板 9名
- 1月／雪だるまのオブジェ 11名
- 2月／スタンドグラス 18名
- 3月／くるくる風車 5名

年間利用者数 113名

- ・出張体験学習 3団体 171名

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名			
9	教育費	5	保健体育費	1	保健体育総務費	220433	スポーツ人材強化・育成事業

事務事業名 スポーツ人材強化・育成事業

## (1) 事務事業の目的と効果

## 1. 手段(事業の概要)

町内で活動する各種スポーツ団体(少年団、各種競技団体)の構成員並びに指導者に対する適正な指導や研修会等への参加機会を設け、スポーツ活動に関わる人材の育成と町民が参加可能なスポーツ活動の充実を図る。

## 2. 対象(何を対象にしているか)

町民及び各種スポーツ活動団体の構成員

## 3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)

スポーツ活動に携わる人材(競技者、指導者)の育成とそれに係る支援を行い、町のスポーツ活動の充実を図る。

## (2) 事務事業の現状と今後の取組

## 1. 事務事業の現状と課題

道内で活動する競技団体との連携を構築し、それぞれが有する特色を生かしたスポーツや健康などをテーマとする事業を実施する。また、地域おこし協力隊による活動を通じ、少年団や中学校部活動における指導者不足等の課題を抽出し、支援に向けた方策の検討、研修会の開催等を行う。

## 2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策)

町長公約である「一流を見て、聞いて、学ぶ」実現のためのソフト事業を展開する。各種スポーツに親しむ機会、技術や心構えの習得機会、指導者のための研修会などスポーツしやすい環境を継続していくため、今後も事業を推進していく。

## (3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2021年度	2022年度	2023年度	
投入量	事業費	国・道支出金	円		700,000	900,000
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円	402,047	337,267	262,000
		一般財源	円	2,994,971	5,500,257	5,678,000
		事業費計(A)	円	3,397,018	6,537,524	6,840,000
	人件費	正職員従事人数	人	3	3	3
		人工数(業務量)	人工	0.0855	0.0893	
人件費計(B)		円	666,025	694,005		
トータルコスト(A+B)		円	4,063,043	7,231,529		
活動指標	研修会、各種教室の実施回数	回	10	4	4	
	研修会、各種教室への延べ参加者数	人	903	137	137	

## (4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2021年度	2022年度	2023年度
会計年度任用職員労働保険個人負担金(保健体育総務費)	円	202,047	308,567	262,000
スポーツ人材強化・育成事業道補助金	円	200,000	700,000	900,000
スポーツ人材強化・育成事業個人負担金	円		28,700	
	円			
	円			
	円			

## 事務事業の成果に関する説明

**1 プロスポーツ競技団体との連携構築**

- (1) 北海道日本ハムファイターズと3年間のパートナー協定を令和元年5月27日に締結  
令和2年度及び3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった事業が多くあったことから、令和5年3月31日まで期間を延長。
- (2) 北海道十勝スカイアーススポーツと包括的連携協定を平成30年8月23日に締結

**2 北海道日本ハムファイターズとの連携事業の実施状況**

- (1) 「TheHOME」地域貢献プロジェクト事業(令和4年4月1日～令和5年3月31日)  
地域の実情に合せ、深く継続的な地域貢献の形を目指し、北海道日本ハムファイターズマスコットB・Bが1年をかけて継続的に町おこしに取り組むプロジェクト。
- (2) 北海道日本ハムファイターズ応援バスツアー  
① 令和4年7月23日 参加者26名  
② 令和4年7月24日 参加者22名
- (3) 北海道日本ハムファイターズ FOOT STEP FUND ～あしあと基金～in 芽室町及びダンスイベント  
令和4年10月15日 参加者183名( FOOT STEP FUND89名、ダンスイベント94名)
- (4) 北海道日本ハムファイターズ フィジカルアカデミー教室  
令和5年1月22日 参加者53名( 1部(年少～年長)35名、2部(小学1年生～3年生)18名)
- (5) 北海道日本ハムファイターズ コミュニテースクール出前事業  
令和5年3月3日 参加者52名( 上美生小学校 児童32名、上美生中学校 生徒20名)
- (6) 北海道日本ハムファイターズ 野球教室  
令和5年3月3日 参加者40名( 芽室ジャガーズ26名、芽室イーグルス14名)
- (7) 北海道日本ハムファイターズ 食育講習会  
令和5年3月4日 参加者50名

**3 北海道十勝スカイアーススポーツとの連携事業の実施状況**

- (1) めむろサンクスマッチ(令和4年6月26日)  
参加者数 550名
- (2) 芽室町スポーツ少年団リーダー研修会(令和4年12月18日)  
参加者数 21名
- (3) 西部十勝スポーツ少年団交流会(令和5年2月12日)  
参加者数 29名
- (4) 雪中スポーツ祭(令和5年2月25日)  
参加者数 24名
- (5) サッカークリニック(令和5年3月11日)  
参加者数 38名

**4 地域おこし協力隊(スポーツ振興・町民の健康づくり)1名の任用**

任 期 令和4年4月1日から(最長3年間)  
業務内容 町内スポーツ競技団体の指導者発掘やスポーツ活動への指導助言、町民の健康づくりに関する取組みなど、スポーツを通じた魅力あるまちづくり実現に向けた活動を担う。

**5 地域おこし協力隊の活動**

- (1) スポーツ少年団、子どもセンター等の指導協力  
少年団や子どもセンター等が実施するサッカー教室や町内の運動教室等の講師としての派遣協力 65回派遣。
- (2) スポーツ競技団体との連絡・協議  
スポーツ関連事業の企画・実施に向けた北海道十勝スカイアース株式会社等との協議。  
業務内容 町内スポーツ競技団体の指導者発掘やスポーツ活動への指導助言、町民の健康づくりに関する取組みなど、スポーツを通じた魅力あるまちづくり実現に向けた活動を担う。

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名			
9	教育費	5	保健体育費	2	体育施設費	220424	屋外体育施設維持管理事業

## 事務事業名 屋外体育施設維持管理事業

## (1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 芽室公園野球場、芽室公園運動広場(ソフトボール場1面特設)、芽室町南多目的運動広場、アーチェリー場、芽室南公園運動広場、芽室公園庭球場(3面うち1面は壁打ち用)、芽室南公園庭球場(ハード3面、クレイ3面)、東工業団地北1公園PG場、芽室南PG場、芽室町サッカー場1面、芽室西運動広場の維持管理を行う。
2. 対象(何を対象にしているか) 町民、スポーツ団体等
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 町民及び各種スポーツ団体のメンバー等がスポーツ活動を実践することができる。

## (2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 町民の運動志向の高まりとともに、取り組むスポーツも多様化し、より快適で安全な体育施設の設置、維持管理、整備が望まれている。平成30年度には芽室公園野球場の大規模改修工事と平成28年度の台風被害を受けた美生川河川敷PG場の災害復旧工事を行うなど、施設整備事業を実施している。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) 芽室町営水泳プール建替基本計画と連動し、周辺施設を含む屋外体育施設全体の整備に向けて、施設の現状把握と分析、競技団体との意見交換、財源確保に向けた調査、南運動公園庭球場の整備の方向性を検討する。

## (3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2021年度	2022年度	2023年度	
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地方債	円			17,300,000
		その他(使用料等)	円	1,760,720	692,290	1,961,000
		一般財源	円	41,598,221	39,487,204	40,015,000
		事業費計(A)	円	43,358,941	40,179,494	59,276,000
	人件費	正職員従事人数	人	3	3	3
		人工数(業務量)	人工	0.1955	0.2281	
人件費計(B)		円	1,522,899	1,772,704		
トータルコスト(A+B)		円	44,881,840	41,952,198		
活動指標	施設数	施設数	11	11	11	
	会場日数	日	123	192	192	

## (4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2021年度	2022年度	2023年度
野球場使用料	円	65,970	164,070	
運動広場使用料	円	145,300	191,750	
庭球場使用料	円	73,950	79,800	
アーチェリー場使用料	円	2,000	8,670	
サッカー場使用料	円	6,500	10,000	
寄附金管理基金繰入金	円	1,467,000	238,000	
公共施設整備基金繰入金	円			1,961,000
芽室公園テニス場改修工事事業債	円			17,300,000

## 事務事業の成果に関する説明

## 屋外体育施設の利用状況

## 1. 芽室公園運動施設

[単位:人]

施設名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	R4計	R3	R2
町営野球場	43	996	1,306	1,400	340	654	307	90	5,136	2,491	2,919
芽室公園運動広場	30	1,361	1,870	1,200	2,073	1,155	751	30	8,470	5,538	5,263
芽室公園庭球場	15	140	93	121	90	143	110	12	724	520	963

## 2. 南公園運動施設

[単位:人]

施設名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	R4計	R3	R2
南公園運動広場		114	69	160	415	17			775	299	814
南公園庭球場	10	261	283	278	340	256	165	40	1,633	1,385	2,411

## 3. 南多目的運動施設

[単位:人]

施設名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	R4計	R3	R2
アーチェリー場	31	104	70	62	65	37	27		396	187	297
ソフトボール場	20	190	220	209	260	205			1,104	605	905

## 4. サッカー場

[単位:人]

施設名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	R4計	R3	R2
小学生以下			728	670	1,070	612	470		3,550	1,353	3,832
中学生			29	323	371	255			978	845	720
高校生・一般			86	119	160	102	50		517	248	447
計			843	1,112	1,601	969	520		5,045	2,446	4,999

## 5. パークゴルフ場(団体利用の申込み状況)

施設名	R4		R3		R2	
	団体数	利用人数	団体数	利用人数	団体数	利用人数
美生川河川敷	10	698	5	516	4	225
東工業団地北一公園	4	117	3	105	4	91
南	10	2,499	7	2,097	3	331
北	2	37	1	20	1	40
計	26	3,351	16	2,738	12	687

## 6. 西運動広場(平成29年度より開設)

[単位:人]

施設名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	R4計	R3
西運動広場	50	1,931	1,174	688	1,577	675	851	32	6,978	3,541

## 屋外体育施設の維持管理の状況

## 【修繕等】

美生川パークゴルフ場多目的トイレ自動フラッシュバルブ取替修繕 154,000円

## 【備品購入】

町営サッカー場ラインカー購入 250,000円

ティーバッティング練習用ネット 71,940円

建設事業等の説明 (単位:円)						
事業(工事)名 及び事業内容	事業費	財源内訳				備考
		国道支出金	起債	その他	一般財源	
町営サッカー場 水道メーター 撤去工事	121,000				121,000	(株)宮間工業 R4.6.7~6.30
合計	121,000				121,000	

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名			
9	教育費	5	保健体育費	3	総合体育館管理費	220406	総合体育館維持管理事業

## 事務事業名 総合体育館維持管理事業

## (1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 総合体育館(第1・2競技場、トレーニング室、研修室等)の維持管理
2. 対象(何を対象にしているか) 町民、スポーツ競技団体等
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 競技スポーツだけではなく、体力向上や健康増進のためのスポーツ実践の場を提供し、町民皆スポーツに繋げる。

## (2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 経年劣化の改善や耐震性向上のため平成24年度に改修工事を実施し、以降、計画的に施設備品や施設の整備を実施。施設災害発生時の町の避難施設に指定されていることから平成26年度にバイオマス発電設備を設置し、災害時の利用に備え、日常的に運転を継続している。令和5年度には、施設内電気・機械設備等の老朽化改善を図るべく改修工事を実施する。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) 社会体育施設指定管理者と情報共有を図り、今後も計画的な施設整備、備品整備を行っていく。また、隣接する芽室町営水泳プール建替に係る基本計画を策定する中で、町営水泳プール、トレーニングセンター、総合体育館の連絡方法や利用者の動線、町営水泳プール跡地利用を含めた周辺の屋外体育施設の整備と連動し、総合体育館周辺の将来的な土地利用の方向性を検討する。

## (3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2021年度	2022年度	2023年度	
投入量	事業費	国・道支出金	円			44,700,000
		地方債	円		1,200,000	48,000,000
		その他(使用料等)	円	3,936,331	4,638,067	54,848,000
		一般財源	円	55,897,400	63,774,288	60,629,000
		事業費計(A)	円	59,833,731	69,612,355	208,177,000
	人件費	正職員従事人数	人	3	3	3
		人工数(業務量)	人工	0.0971	0.1733	
人件費計(B)		円	756,386	1,346,820		
トータルコスト(A+B)		円	60,590,117	70,959,175		
活動指標	施設数	施設	1	1	1	
	開館日数	日	283	350	350	

## (4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細部名	単位	2021年度	2022年度	2023年度
総合体育館使用料	円	3,832,081	4,521,792	
総合体育館自動販売機等使用料	円	103,590	115,635	103,000
スポーツ振興基金繰入金	円			7,000,000
私用電話料(総合体育館管理費)	円	660	640	1,000
都市構造再編集集中支援事業国庫補助金	円			44,700,000
総合体育館改修工事事業債	円		1,200,000	48,000,000
公共施設整備基金繰入金	円			47,744,000

## 事務事業の成果に関する説明

## 芽室町総合体育館の利用状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
R2	個人	1,147	260	2,004	1,697	1,719	1,547	1,841	1,818	1,938	1,583	2,138	2,177	19,869
	団体	1,793	141	3,525	4,327	3,875	4,419	7,162	3,831	3,614	3,404	4,086	4,097	44,274
	計	2,940	401	5,529	6,024	5,594	5,966	9,003	5,649	5,552	4,987	6,224	6,274	64,143
R3	個人	2,010	1,170	471	1,660	1,476		1,610	1,790	2,004	1,863	2,195	2,482	18,731
	団体	4,580	1,619	1,339	4,357	2,794	176	4,824	4,875	5,012	3,248	1,814	3,111	37,749
	計	6,590	2,789	1,810	6,017	4,270	176	6,434	6,665	7,016	5,111	4,009	5,593	56,480
R4	個人	1,658	1,758	1,587	1,818	1,561	1,608	1,713	1,752	1,575	1,805	1,683	1,930	20,448
	団体	3,846	4,224	5,466	4,185	3,781	4,770	4,947	3,787	4,070	4,241	4,542	4,921	52,780
	計	5,504	5,982	7,053	6,003	5,342	6,378	6,660	5,539	5,645	6,046	6,225	6,851	73,228

## 芽室町総合体育館の競技別利用状況

競技名	R2	R3	R4
バドミントン	18,599	17,005	21,880
卓球	4,626	4,701	6,084
テニス	3,393	2,556	2,722
バレーボール	5,611	4,552	7,748
ミニバレー	6,228	4,357	5,849
バスケットボール	1,343	540	1,074
剣道	1,556	1,683	2,050
柔道	1,065	869	1,061
空手	2,920	2,069	2,763
テニポン	2,782	2,310	3,322
トレーニング	9,543	8,704	9,462
研修室	286	411	779
その他	6,191	4,170	4,504
計	64,143	53,927	69,298

## 芽室町総合体育館教室等の開催(指定管理業務)

講座名	教室数	受講者数	延べ人数
レディース講座	18	50	237
にこにこ	30	149	744
シニアスポーツ	18	85	416
からだらくらくトレーニング	6	15	70
らくらく運動教室	40	125	781
スタイリッシュ教室	8	8	28
健康づくり	12	40	195
バランスボールエクササイズ	12	31	122
基礎筋力UP	12	10	60
エアロビクス	8	48	153
シニアるるん	8	30	96
ヨガ	19	80	285
ピラティス	20	77	262
ミドルエイジ	4	15	43
ダンベル	6	3	14
町民体力測定	1	2	2
親子でジャンプ	4	36	138
計	226	804	3,646

## 芽室町総合体育館の維持管理の状況

## 【修繕等】

総合体育館屋根面戸修繕 935,000円

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名			
9	教育費	5	保健体育費	4	プール管理費	220409	温水プール維持管理事業

事務事業名 温水プール維持管理事業

## (1) 事務事業の目的と効果

## 1. 手段(事業の概要)

温水プールの維持管理を行う。

## 2. 対象(何を対象にしているか)

町民、スポーツ団体

## 3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)

競技スポーツだけではなく、体力向上や健康増進のためのスポーツ実践の場を提供し、町民皆スポーツに繋げる。

## (2) 事務事業の現状と今後の取組

## 1. 事務事業の現状と課題

開館から29年が経過し、施設や設備の老朽化が進んでいることから、平成26年度に施設の改修計画に向けた設計委託業務を実施し、平成27年度に町民からなる検討会議での議論を踏まえ、教育委員会としての施設改修に関する基本方針をまとめた。平成30年度にはこの基本方針を踏まえ、町として施設建替基本構想を策定、令和4年度に町営水泳プールの建替工事を実施し、令和5年7月1日から供用を開始する。

## 2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策)

平成30年度に策定した「町営水泳プール建替基本構想」に基づき、施設の整備方針、規模や建設位置、事業費やそれに伴う財源、事業手法等をまとめた基本方針を策定し、基本構想で方向性を示したDBO方式による施設建替を見据えた要求水準書、募集要項等を作成し、プロポーザル審査委員会を設置し、業者選定を行った令和3年度は、建替に係る基本・実施設計委託し、令和4年度に町営水泳プールの建替工事を開始、令和5年7月1日に供用を開始し、指定管理者による施設の維持管理を行う。

## (3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2021年度	2022年度	2023年度	
投入量	事業費	国・道支出金	円	37,895,000	1,400,000	30,400,000
		地方債	円	34,100,000		126,900,000
		その他(使用料等)	円	2,840,103	6,431,781	109,917,000
		一般財源	円	59,006,942	55,913,602	53,349,000
		事業費計(A)	円	133,842,045	63,745,383	320,566,000
	人件費	正職員従事人数	人	3	3	3
		人工数(業務量)	人工	0.1479	0.1577	
人件費計(B)		円	1,152,106	1,225,583		
トータルコスト(A+B)		円	134,994,151	64,970,966		
活動指標	施設数	施設	1	1	1	
	開館日数	日	220	310	310	

## (4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2021年度	2022年度	2023年度
プール使用料	円	2,696,810	3,333,785	
プール自動販売機等使用料	円	142,633	155,956	140,000
私用電話料(プール管理費)	円	660	40	1,000
都市構造再編集中支援事業国庫補助金(プール管理費)	円	37,895,000	1,400,000	30,400,000
温水プール建設事業債	円	34,100,000		126,900,000
日本スポーツ振興センタースポーツ振興くじ助成金	円		2,942,000	
公共施設整備基金繰入金	円			109,776,000

## 事務事業の成果に関する説明

## 芽室町温水プールの利用状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
R2	個人	720	339	1,380	1,743	2,102	1,371	1,429	1,296	1,604	1,160	1,460	-	14,604
	団体	199		736	1,416	1,210	1,204	1,535	1,042	1,222	1,090	977	-	10,631
	計	919	339	2,116	3,159	3,312	2,575	2,964	2,338	2,826	2,250	2,437		25,235
R3	個人	1,487	770	657	3,016	1,963		1,352	1,126	1,648	1,476	1,472	-	14,967
	団体	1,131	510	696	2,700	1,578		860	1,055	1,264	1,218	785	-	11,797
	計	2,618	1,280	1,353	5,716	3,541		2,212	2,181	2,912	2,694	2,257		26,764
R4	個人	1,360	1,630	1,945	2,409	1,880	1,626	1,371	1,505	1,264	1,382	1,372	1,453	19,197
	団体	987	988	2,825	2,549	1,490	2,134	1,039	896	1,199	1,235	1,041	149	16,532
	計	2,347	2,618	4,770	4,958	3,370	3,760	2,410	2,401	2,463	2,617	2,413	1,602	35,729

## 水泳教室等(指定管理業務)の開催状況

対象	実施状況	延べ参加者数
こども	4コース/延べ32教室	3,340人
親子	0コース/延べ0教室	16人
大人(スイミング)	9コース/延べ32教室	1,332人
大人(水中運動)	3コース/延べ12教室	1,057人
計		5,745人

## 芽室町営水泳プール(温水プール)の維持管理の状況

## 【備品購入】

- ①温水プールスポーツタイマー購入 206,000円  
 ②温水プールスタート台購入 3,678,400円

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名			
9	教育費	5	保健体育費	5	健康プラザ管理費	220416	健康プラザ維持管理事業

## 事務事業名 健康プラザ維持管理事業

## (1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 健康プラザ(アリーナ、研修室、資料室等)の維持管理を行う
2. 対象(何を対象にしているか) 町民、スポーツ団体等
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 競技スポーツだけでなく、体力向上や健康増進のためのスポーツ実践の場を提供し、町民皆スポーツに繋げる。

## (2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 ゲートボールを中心に通年で様々な競技に利用されている。特に冬期間は、ゲートボールやテニス、フットサルだけではなく、野球など屋外競技の冬期間の練習場としての利用実績を持つ。また、平成28年度に日本スポーツ振興センターの助成制度を活用して整備した、アリーナ人工芝の維持管理や長寿命化に努めるとともに、懸案事項となっている天井部分からの管漏への有効な対策を検討する必要がある。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) 平成28年度に日本スポーツ振興センターの助成制度を活用して整備したアリーナ人工芝の長寿命化を図るため、保護用砂の散布を実施するとともに、天井部分からの管漏への有効な対策を検討し、施設全体の長寿命化に向けた課題の解決を図る。

## (3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2021年度	2022年度	2023年度	
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円	787,200	868,808	121,000
		一般財源	円	12,430,008	11,958,750	18,009,000
		事業費計(A)	円	13,217,208	12,827,558	18,130,000
	人件費	正職員従事人数	人	3	3	3
		人工数(業務量)	人工	0.1323	0.1216	
人件費計(B)		円	1,030,586	945,028		
トータルコスト(A+B)		円	14,247,794	13,772,586		
活動指標	施設数	施設	1	1	1	
	開館日数	日	291	361	361	

## (4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2021年度	2022年度	2023年度
健康プラザ使用料	円	654,770	746,990	
健康プラザ自動販売機等使用料	円	129,510	119,028	118,000
私用電話料(健康プラザ管理費)	円	2,920	2,790	3,000
	円			
	円			
	円			

## 事務事業の成果に関する説明

## 芽室町健康プラザの利用状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
R2	個人	488	9	152	198	160	349	452	469	580	405	634	687	4,583
	団体	1,271	23	760	617	656	1,062	1,846	3,048	2,708	2,749	3,280	3,044	21,064
	計	1,759	32	912	815	816	1,411	2,298	3,517	3,288	3,154	3,914	3,731	25,647
R3	個人	376	265	46	99	86		358	379	467	618	952	762	4,408
	団体	3,044	748	410	1,507	815		2,193	3,848	3,452	2,348	1,272	2,168	21,805
	計	3,420	1,013	456	1,606	901		2,551	4,227	3,919	2,966	2,224	2,930	26,213
R4	個人	409	293	139	229	229	298	316	164	246	415	296	309	3,343
	団体	2,438	1,551	2,422	1,672	1,316	1,393	2,132	3,069	2,711	3,031	3,212	3,494	28,441
	計	2,847	1,844	2,561	1,901	1,545	1,691	2,448	3,233	2,957	3,446	3,508	3,803	31,784

## 芽室町健康プラザの競技別利用状況

競技名	R2	R3	R4
ゲートボール	7,900	9,501	13,119
サッカー	8,218	7,789	9,320
野球	4,566	4,542	4,177
ソフトボール	314	486	348
テニス	2,516	1,444	1,445
アーチェリー	755	607	880
パークゴルフ	759	1,262	1,218
その他	619	582	1,277
計	25,647	26,213	31,784

## 芽室町健康プラザの維持管理の状況

## 【修繕】

- ①健康プラザ雨漏り修繕 282,150円  
 ②健康プラザ温風暖房機修理 247,500円